

## システムキッチン

# 取扱説明書

このたびはお買い上げいただき、  
まことにありがとうございます。

■ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、  
正しくご使用ください。

■取扱説明書は、いつでも見られる場所に  
大切に保管してください。

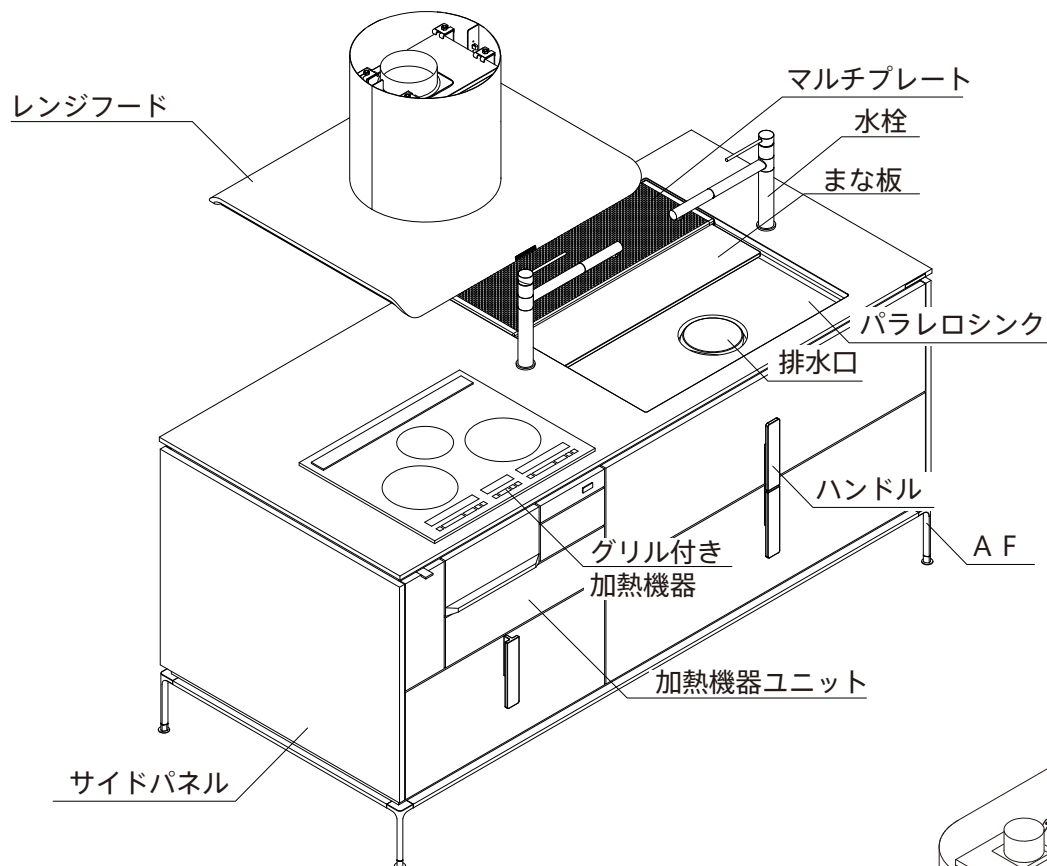
### もくじ

・各部の名称	1～2
・安全上のご注意	3～7
・ワークトップ	8～14
・オプションパーツ	14
・排水口	15～17
・扉	17～18
・ユニット	19～27
・扉・引出し・フラップ扉の調整	28～40
・耐荷重	41～43
・ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて／ アフターサービスについて／ホルムアルデヒド発散区分／ VOC放散性能	裏表紙

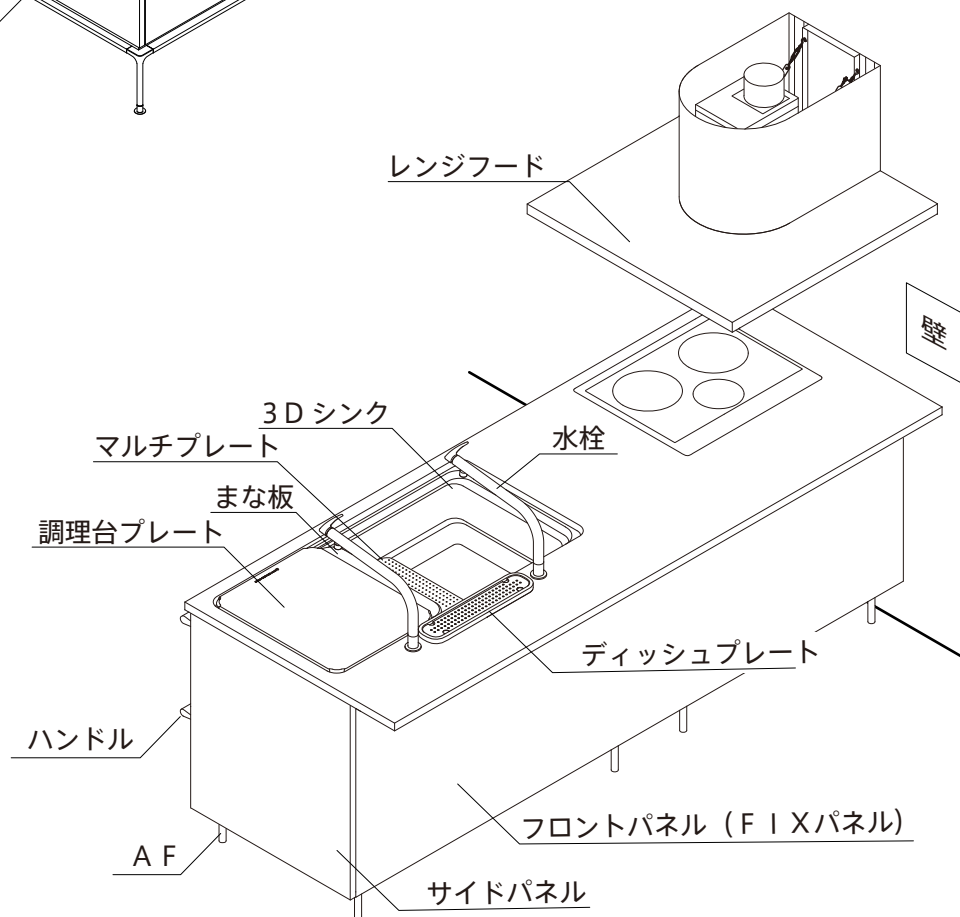


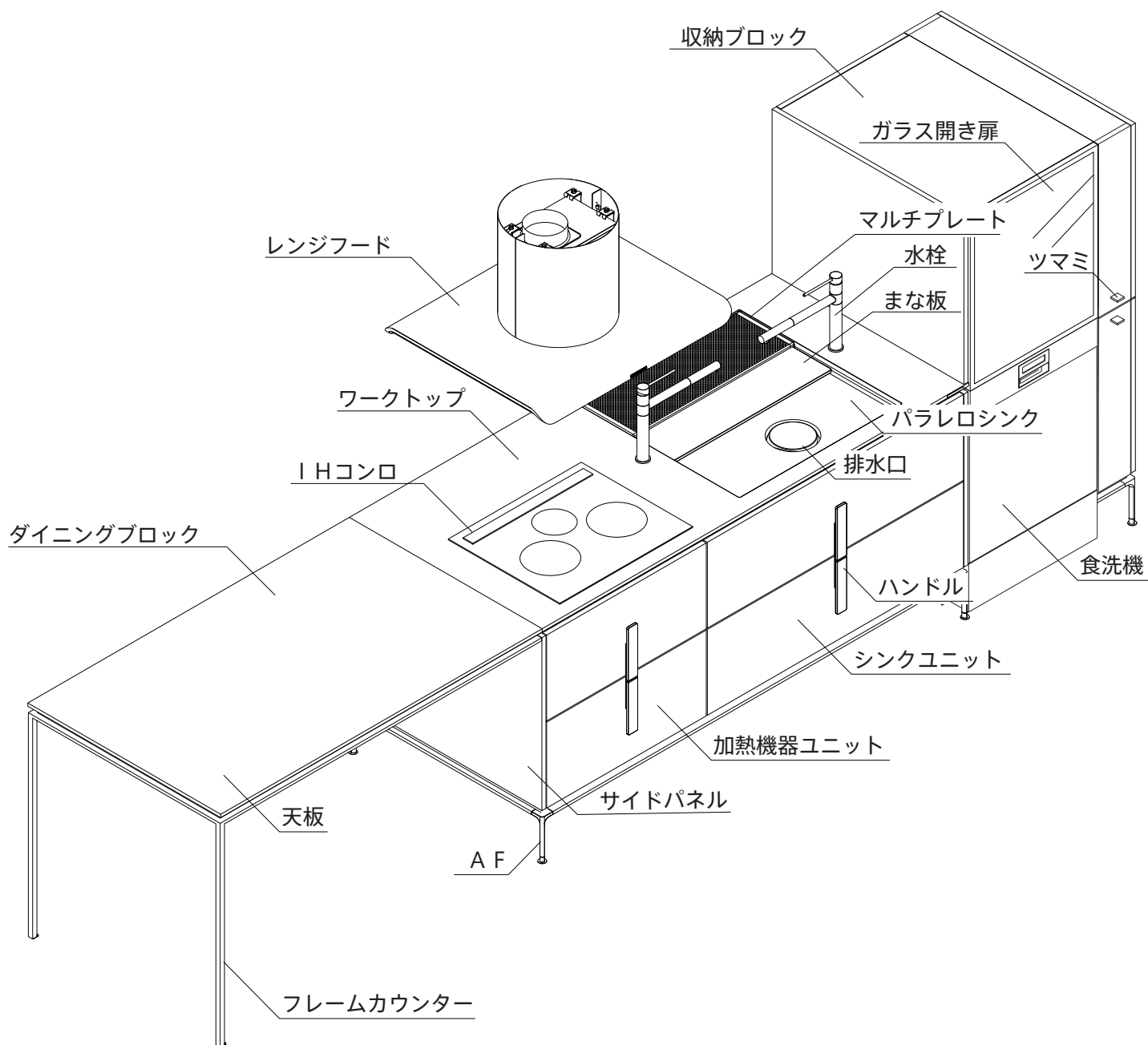
# 各部の名称

## アイランドキッチン



## ペニンシュラキッチン







# 安全上のご注意

必ずお守りください



ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものです。


安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


 <b>警告</b>	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 <b>注意</b>	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

 **警告**

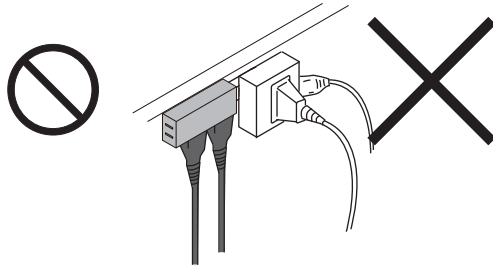
分解・修理・改造は絶対にしないでください。



分解禁止

感電、発火、ケガ、異常動作の原因になります。故障と思われた時は、お買い上げの販売店または、トーヨーキッチンお客様相談室にご連絡ください。

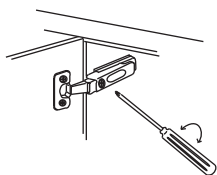
電源コンセントの表示容量(ワット)をこえる電気器具を使用しないでください。



発熱により、火災の原因になることがあります。  
(2口コンセント合計1500Wまで)

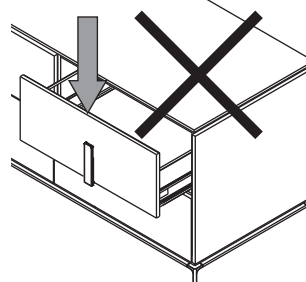
## ⚠ 注意

扉が傾いたり、ガタついている時は、丁番のネジを締めなおしてください。



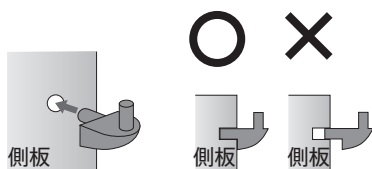
扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。

扉や<sup>とって</sup>把手、引出しにぶら下がらないでください。



扉や把手が外れて、ケガをする恐れがあります。

棚受け(ダボ)は確実に奥まで差し込んでください。



棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。

扉を大きく開けすぎないでください。



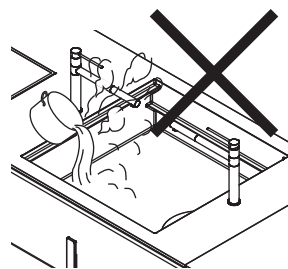
扉が外れて、ケガをする恐れがあります。

組込まれる機器・水栓金具等については、それぞれの取扱説明書および製品本体に表示されている事項をお守りください。



使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

天ぷら油や熱湯を、直接排水口に流さないでください。



排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。

棚板、引出し、その他パーツ類には、指定の荷重以上載せないでください。

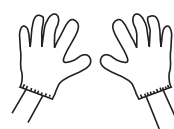


載せているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

金属部のお手入れの際は、必ず手袋を着用してください。



手袋着用



鋼板の切り口や角で、手を切る恐れがあります。

固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしないでください。



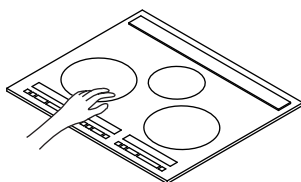
水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。



電源コードが破損して、感電、火災の原因になります。

調理機器の使用中や使用直後は、調理機器周辺に手を触れないでください。



放射する熱などで熱くなり、やけどの恐れがあります。

電源プラグの刃および、刃の取付け面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。



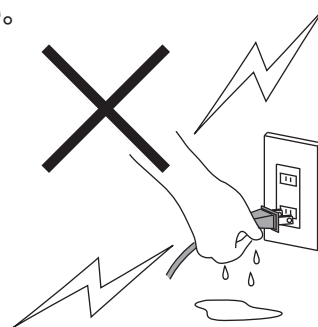
火災の原因になります。

電源プラグを抜く時は、電源コードを持たないでください。



感電やショートして発火する恐れがあります。

濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。



感電やケガの恐れがあります。

電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

雷時は、コンセントから電源プラグを抜いて、電源（ブレーカー）を切ってください。



雷による一時的な過電流で電子部品が損傷する恐れがあります。

長期間ご使用にならない時は、電源を切ってください。



絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は、使用しないでください。



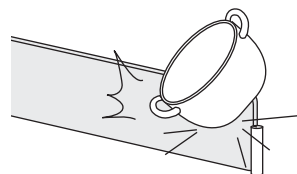
感電やショートして発火する恐れがあります。

交流100V以外では、使用しないでください。



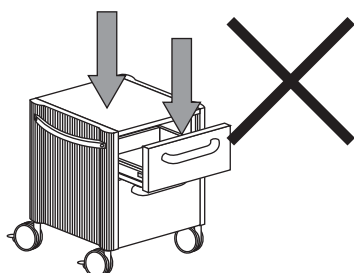
火災、感電の原因になります。

ガラスバックガードやガラス扉に強い衝撃を与えないでください。



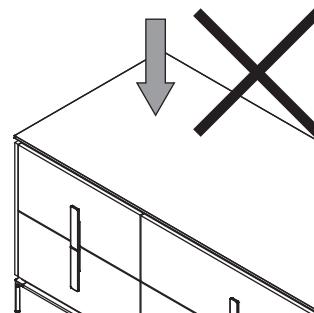
ガラスが割れて、ケガをする恐れがあります。

モバイルコンテナ、ダストワゴンに乗ったりして、お子様を遊ばせないでください。



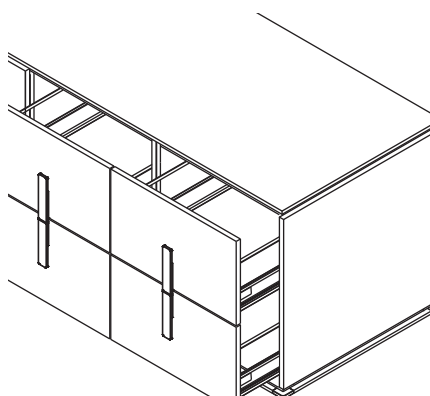
ケガをする恐れがあります。

ワークトップに乗ったり、体重をかけたりしないでください。



ワークトップが変形したり、ケガをする恐れがあります。

全ての引出しを引き出した状態にしないでください。



変形や破損の恐れがあります。

定期的に、配管周り(ユニット内等)の水漏れや、ガタつきが無いか確認してください。



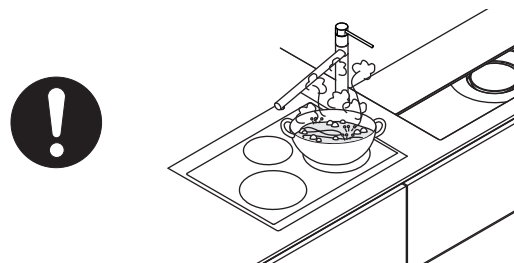
劣化・摩耗等で部品が破損し、やけど・ケガをしたり、漏水で家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

引出しに体が触れて少し開いてしまった場合は、そのまま押し込まないでください。いったん体を引出しから離し、いっぱいまで引出しを開いてから、引出しの中央部を押して閉めてください。



無理に引出しを閉めると、引出しの開閉不良の原因になります。

水栓を加熱機器側に向けて長時間使用しないでください。



水栓が高温になり、やけどや水栓破損の恐れがあります。

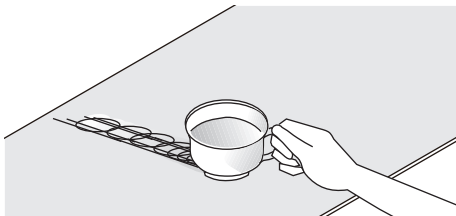


# ステンレス ワークトップ

ステンレスワークトップは、以下の注意とお手入れ方法で、いつまでも快適にご使用になれます。

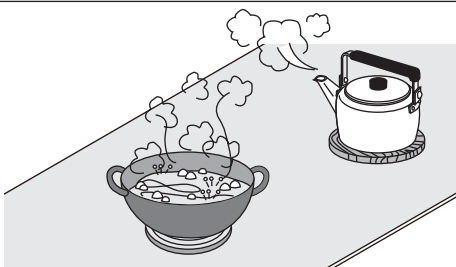
## ご使用に際して

擦り傷にご注意ください。



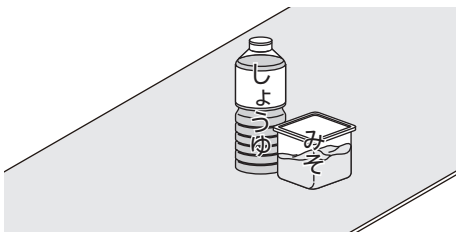
食器や調理道具等を引きずることにより、ステンレスに傷が付くことがあります。  
鏡面のワークトップは、擦り傷が目立ちやすいことがあります。

高温になっている鍋やヤカン等を直接ワークトップの上に置かないでください。



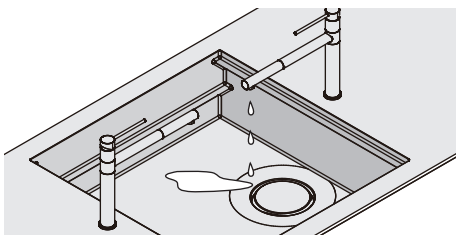
沸騰したヤカン、熱い油の入った鍋を置く際は、ステンレス保護のため鍋敷きを使用してください。

梅干し・漬け物・みそ・しょうゆ等の汚れを放置しないでください。



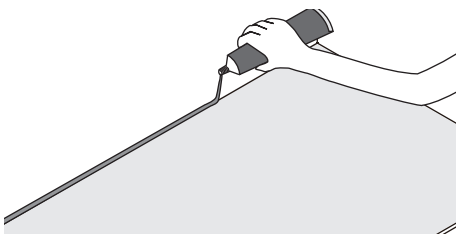
梅干し・漬け物等の塩分で、ステンレスの光沢が無くなる場合があります。

水道水は水漏れの無いようご注意ください。



水道水に含まれる塩素により、ステンレスの光沢が無くなる場合があります。

シーリング部分が切れたり、汚れたりしたら…



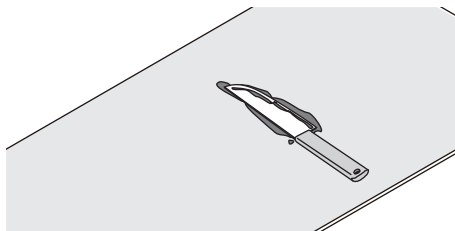
シーリング部分をカッター等で削り取り、市販の防カビ用シリコンシーリング材でシールしてください。

弱アルカリ性の漂白剤・硫酸・塩酸等の強酸、シンナー・ベンジン等は使用しないでください。



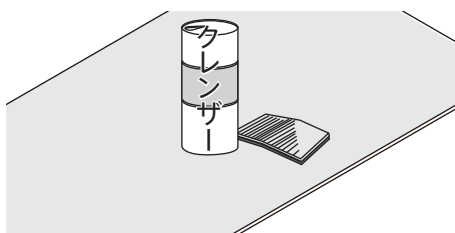
変質する場合があります。

ぬれた包丁、缶詰、ヘアピン等鉄製のものを長時間放置しないでください。



もらいサビの原因となることがあります。

粒子の粗いクレンザーやタワシ・金属タワシ・ナイロンタワシは、使用しないでください。



ステンレスに小さな傷が付くことがあります。

## お手入れ方法

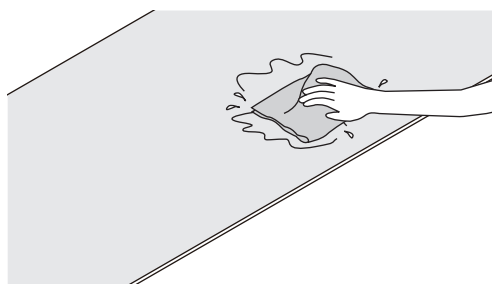
汚れは放置すると落ちにくくなりますので、ご使用のたびにお手入れを行ってください。お手入れには、柔らかい布をご使用ください。

タワシやスポンジの裏についているナイロン不織布等は使用しないでください。表面に傷が付きます。

※ご使用始めは、製品表面の黒ずみが付くことがありますが、お手入れを繰り返すとなくなります。

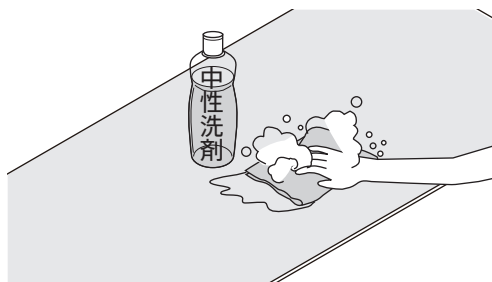
### ■日常のお手入れ

1. 水を含ませた柔らかい布で汚れを落とします。
  2. 乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。
- ※ キルトトップは専用のワイピングクロスの使用を推奨します。



### ■油汚れ

1. 水またはぬるま湯に浸した柔らかい布に台所用中性洗剤をつけて汚れを落とします。
2. 水を含ませた柔らかい布で洗剤を拭き取ります。
3. 乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。



## ■取れにくい、頑固な汚れのお手入れ チタン・エンブレム(※キルトは除く)

1. 水またはぬるま湯に浸した柔らかい布にクリームクレンザー（ジフ等）をつけて円を描くようにして汚れを落とします。

※ 強くこすらないでください。

2. 水を含ませた柔らかい布でクレンザーを拭き取ります。
3. 乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。



または、メラミンフォーム（激落ちくん等）を使用して、汚れを落とします。

## メンテナンス用品（オプション）

### ○シンプルグリーン（洗剤）

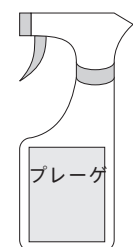
- ・コンロ周り等、油汚れがひどい場合は、水で5倍程度に薄めたシンプルグリーンを吹きかけ、2～3分待ちます。  
スポンジ等で汚れをこすり落とした後、水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。  
乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。
- ・シンク周り、カウンターには30倍程度に薄めたシンプルグリーンを吹きかけ、水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。  
乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。

※希釈率が濃すぎると、表面に洗剤成分が残り、白っぽくなることがあります。



### ○プレーゲ

1. プレーゲを塗布する前に水や中性洗剤等を使用して、表面に付着している汚れを落とします。
  2. プレーゲを塗布します。（スプレー1回（約1cc）につき1平方メートルを目安）
  3. 乾いた柔らかい布で車のワックスを塗り込むように円を描きながら、プレーゲを十分に塗り込みます。
  4. 再度乾いた柔らかい布で、白いモヤモヤが無くなるまでから拭きします。
- ※ プレーゲを塗布しすぎると、白いモヤモヤが取れにくくなります。  
※ プレーゲを使用する前に「シンプルグリーン」で油汚れを落とすとより一層効果が得られます。



### ○ワイピングクロス ※キルトトップには付属されます。

- ・日常のお手入れに、カラぶきまたはきつく絞った水拭きで汚れを拭き取ります。

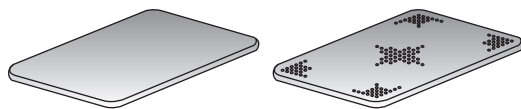


■調理台プレート

■マルチプレート

■まな板

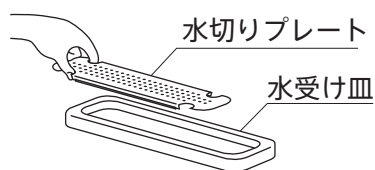
常に清潔を保ってください。



塩素系洗浄剤、塩分の多い食材や調味料等に含まれる塩素分が、サビの原因となります。

■ディッシュプレート

水切りプレートを取り外し、水受け皿に溜まった水を捨ててください。



## 人工大理石 ワークトップ

人工大理石ワークトップは、以下の注意とお手入れ方法で、いつまでも快適にご使用になれます。

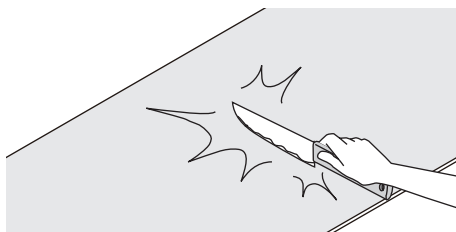
### ご使用に際して

弱アルカリ性の漂白剤・硫酸・塩酸等の強酸・シンナー・ベンジン等を使用しないでください。



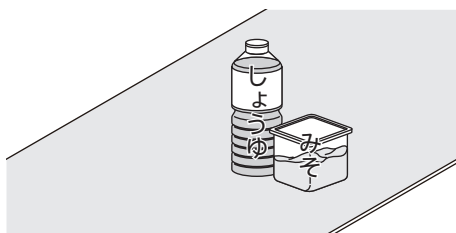
変質する場合があります。

直接包丁を使わないでください。



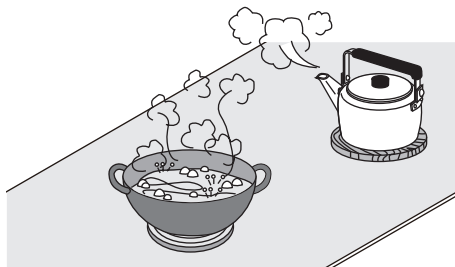
ナイフや包丁等、鋭利なものを当てると表面が傷つきますので、ご注意ください。

梅干し・漬け物・みそ・しょうゆ等の汚れを放置しないでください。



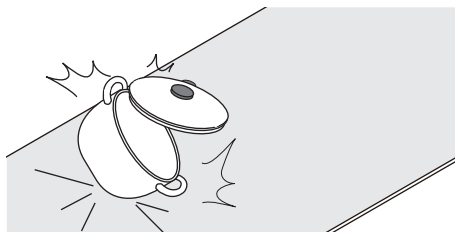
変質する恐れがあります。

高温になっている鍋やヤカン等を直接ワークトップの上に置かないでください。



沸騰したヤカン、熱い油の入った鍋を置く際は、人工大理石保護のため鍋敷きを使用してください。

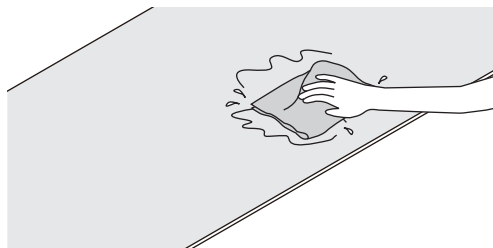
強い衝撃は避けてください。



変形したり、傷が付く恐れがあります。

## お手入れ方法

- ① スポンジに中性洗剤をつけて汚れを落とします。
- ② 水を含ませた布で洗剤分を洗い流してください。
- ③ 水滴を切れ雨に拭き取ってください。  
表面の光沢が保てます。



カームストーン

浅い傷の場合は、400～600番のペーパーでサンディングした後、スコッチブライトに中性洗剤をつけて磨いてください。

深い傷の場合は、240番のペーパーでサンディングした後、600番のペーパーでサンディング、最後にスコッチブライトに中性洗剤をつけて磨いてください。

アクアストーン・ゼリーストーン

浅い傷の場合は、400～600番のペーパーでサンディングした後、荒目のコンパウンドを使用して、バフ掛けをしてください。

深い傷の場合は、240番のペーパーでサンディングした後、600番のペーパーでサンディング、最後に荒目のコンパウンドを使用し、バフ掛けをしてください。

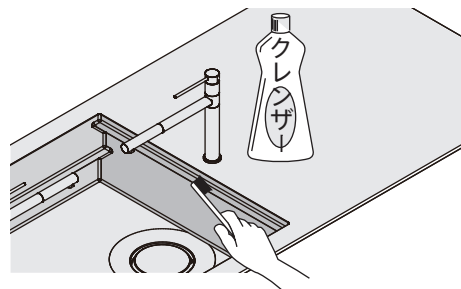
シーリング部分

スポンジまたは歯ブラシ等に液体クレンザーをつけて軽くこすり、汚れを落とします。

洗剤分を洗い流し、水滴をきれいに拭き取ってください。

**ワークトップとシンクのためのシーリング部分を削らないでください。**

水漏れの原因になります。



## メラミン

# ワークトップ

テーブル天板を含む

メラミンワークトップは、以下の注意とお手入れ方法で、いつまでも快適にご使用になれます。

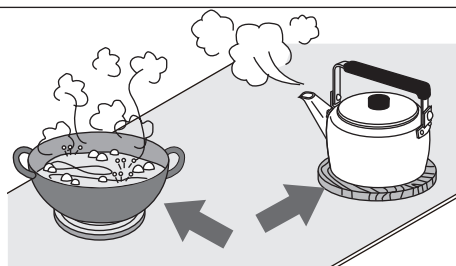
### ご使用に際して

シンナー・ベンジン・ワックス・化学雑巾等は、使用しないでください。



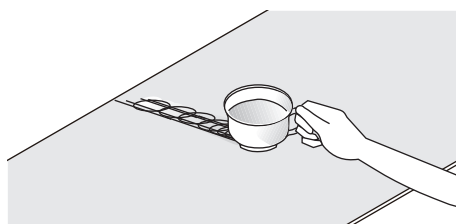
表面の光沢が変わったり、無くなったり、変色する場合があります。

高温になっている鍋やヤカン等を直接ワークトップの上に置かないでください。



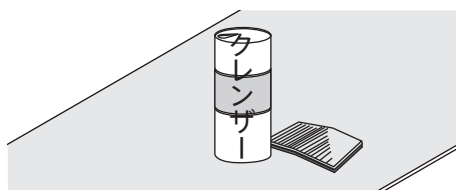
沸騰したヤカン、熱い油の入った鍋を置く際は、メラミン・集成材保護のため鍋敷きを使用してください。

擦り傷にご注意ください。



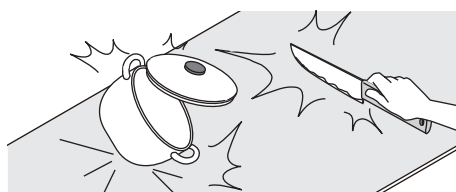
食器や調理道具等を引きずることにより、ワークトップに小さな傷が付くことがあります。

粒子の粗いクレンザーやタワシ・金属タワシ・ナイロントワシは、使用しないでください。



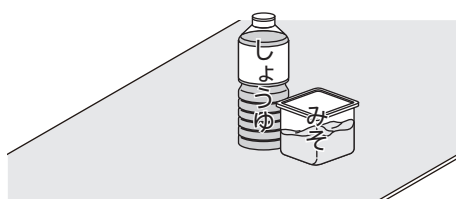
ワークトップに小さな傷が付くことがあります。

強い衝撃は避けてください。  
直接包丁を使わないでください。



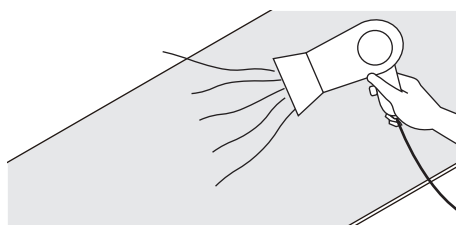
強い衝撃は、変形したり傷つく恐れがあります。また、ナイフや包丁等、鋭利なものを当てると表面が傷つきますので、ご注意ください。

梅干し・漬け物・みそ・しょうゆ等の汚れを放置しないでください。



汚れをすぐに拭き取らない場合、色が付いて変色することがあります。

メラミンに、ドライヤー等の熱風を直接当てたり、熱が直接当たる場所にストーブや温風ヒーター等を置かないでください。



熱によって変形したり、変色する場合があります。

薬品や毛染め剤、強酸または強アルカリ性洗剤・漂白剤が付いた場合は、すぐに拭き取ってください。



表面が変色したりする場合があります。

### お手入れ方法

柔らかい布でから拭きしてください。

※汚れは中性洗剤を柔らかい布にしみこませて拭き、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布でから拭きしてください。

※メラミンの場合、汚れがひどい時はシンナー・ベンジン等で汚れを拭き取ってください。

※集成材には、シンナー・ベンジン等は使用しないでください。

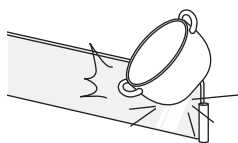
## オプションパーツ

正しく安全に、  
更に便利にお使いください。

### ご使用に際して

#### ■ガラスバックガード

強い衝撃を与えないでください。

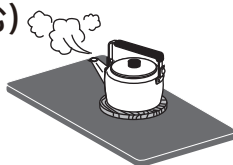


ガラスが割れて、ケガをする恐れがあります。

#### ■カッティングボード

#### ■まな板(パラレロ用まな板裏面を含む)

高温になっている鍋やヤカン等を直接まな板の上に置かないでください。

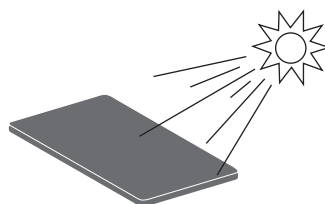


沸騰したヤカン、熱い鍋を置く際は、鍋敷き等を使用してください。変形する恐れがあります。

#### ■カッティングボード

#### ■まな板

直射日光の当たる場所や高温になる場所での使用や放置は避けてください。

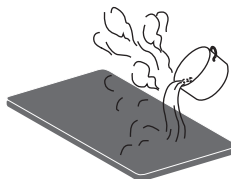


変形する恐れがあります。

#### ■カッティングボード

#### ■まな板

熱湯を直接かけないでください。

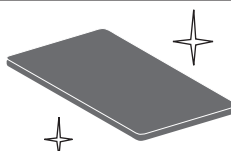


変形する恐れがあります。

### お手入れ方法

#### ■カッティングボード

#### ■まな板



使用後は、よく乾かしてください。



# 排水口

清潔で、快適にご使用していただくために、  
以下の注意とお手入れ方法をお守りください。

## ご使用に際して

### ⚠ 注意

固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤（ヌメリ取り剤等）は、使ったり、近づけたりしないでください。



ヌメリ取り剤

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は、使用上の注意をよく読んでお使いください。

## ■排水口付近の名称

【パレロシンクの場合※右記以外】

【間口1050片面パレロシンクの場合】

【間口1050両面パレロシンクの場合】



ステンレス排水プレート



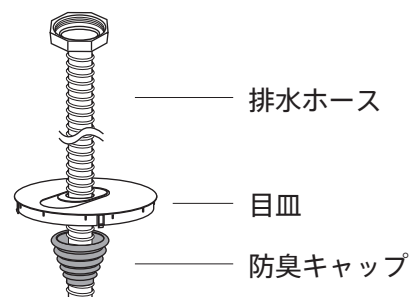
水溜めフタ



ゴミカゴ



排水トラップ



排水ホース

目皿

防臭キャップ



ステンレス排水プレート



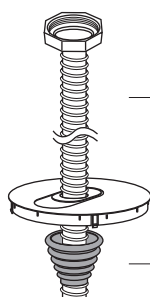
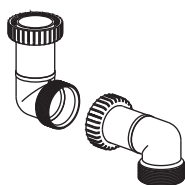
水溜めフタ



ゴミカゴ



排水トラップ



排水ホース

目皿

防臭キャップ



ステンレス排水プレート



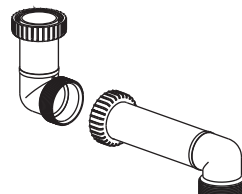
水溜めフタ



ゴミカゴ



排水トラップ



排水ホース

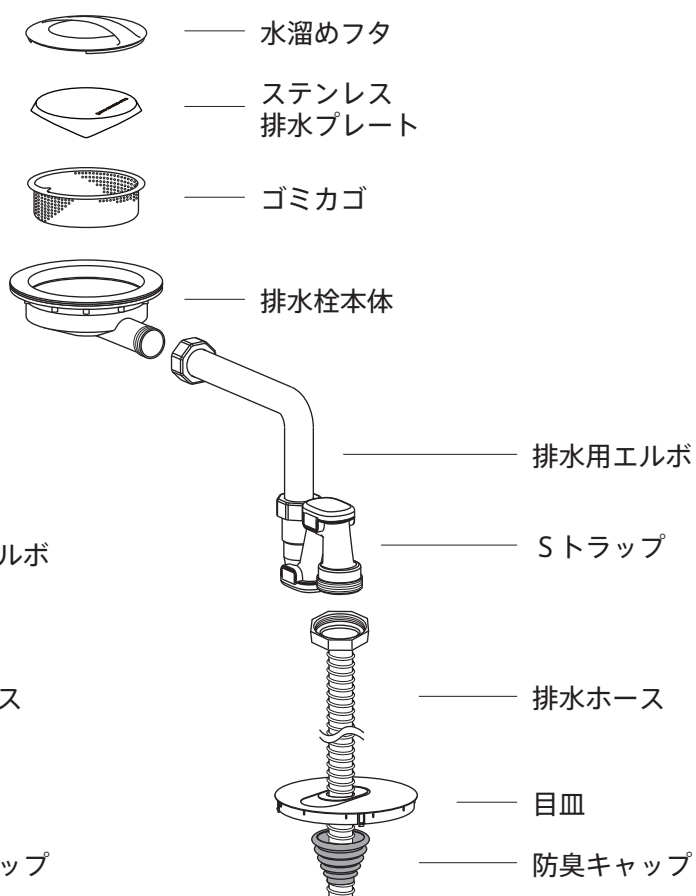
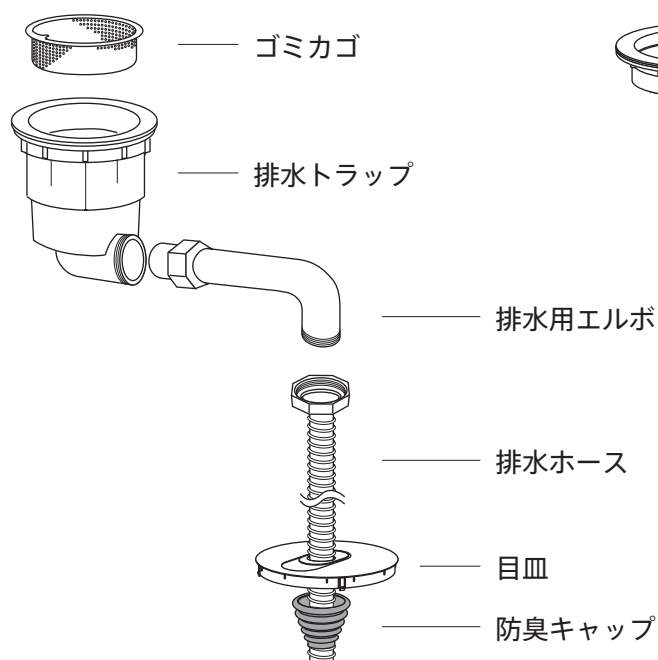
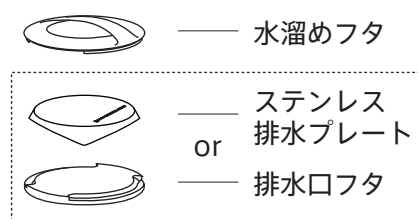
目皿

防臭キャップ



【3 D、2 D、3 D S、2 D Sシンクの場合】

【4 Dシンクの場合】



## ■ステンレス排水プレート

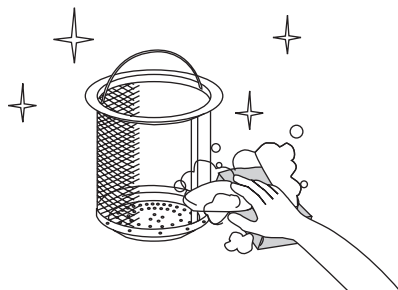
ロゴマーク付近を押して反対側を浮かせて取り外します。



## お手入れ方法

### ■ゴミカゴ

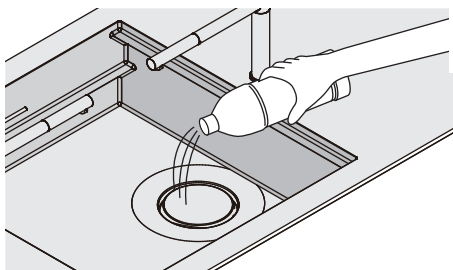
常に清潔を保ってください。



悪臭の原因になりますので、こまめにお湯または、洗剤できれいに洗ってください。  
また、大きなゴミ等は流さないでください。

### ■排水ホース

月に一度のお手入れをおすすめします。



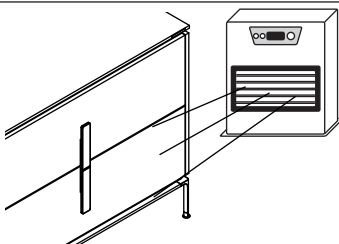
排水ホース内の水あかや油分は、1ヶ月に一度程度洗い流してください。

## 扉

いつまでも美しくお使いいただくために、以下の注意とお手入れ方法をお守りください。

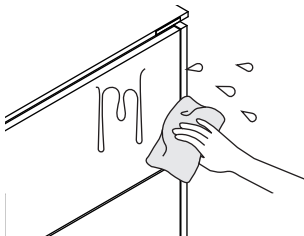
### ご使用に際して

高熱のものは近づけないでください。



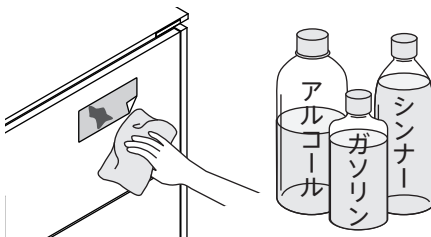
ストーブ・オーブントースター・炊飯器の蒸気の噴き出し口等を近づけると、扉の変形の原因になる場合があります。

扉に水が付いた場合はすぐに拭き取り、常に清潔な状態を保ってください。



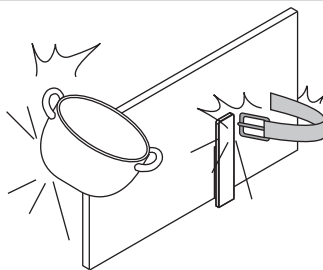
ふくれ、剥がれの原因になります。

塩素系漂白剤・弱アルカリ性洗剤・ガソリン・シンナー・アルコール・ミガキ粉・研磨剤の入った洗剤、粘着テープは使用しないでください。



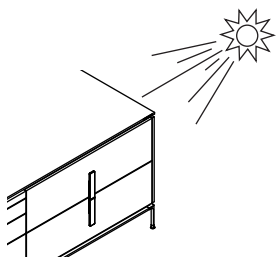
表面塗装の剥がれ、破損、変質、変色の恐れがあります。

扉には、強い衝撃を与えないでください。



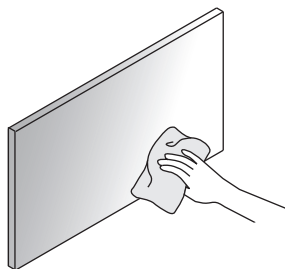
傷がついたり、割れる恐れがあります。  
また、ベルトのバックルなどの金属でも傷がつく場合があります。

塗装扉には、直射日光やハロゲン電球等の強い光、エアコンなどの風が直接当たらないようにしてください。



変形、変色の恐れがあります。

ヴェネツィア、ガルガーノなどの鏡を使用した扉は、水や湿気、汚れなどが付いたらすぐに拭き取ってください。  
また、酸性の洗剤やシンナー・ベンジンなどは使用しないでください。



湿気などによりミラーに腐食（シケ）が発生する場合があります。  
変色・変質の原因となります。

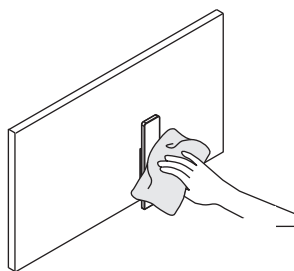
※ストーンナチュラルは、使用上支障のない程度の小さなカケや細かな傷などはそのまま出荷させていただく場合があります。

表面には防汚加工が施してありますが、汚れが入り込むとシミになる恐れがありますので、油や調味料などの汚れが付着した場合はすぐに拭き取ってください。

※メラミン扉は、【メラミン ワークトップ】を参照して、ワークトップに準じた使用をしてください。

金属製把手に水分や汚れが付いた場合はすぐに拭き取ってください。

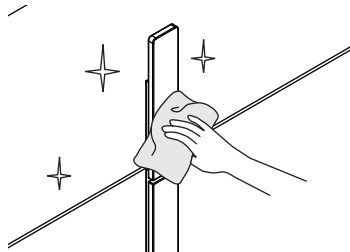
※スワロフスキーをあしらわれた把手は、ストーンが外れる恐れがありますので、溶剤系の薬品・塩素系の薬品などを使用しないでください。



腐食による表面の塗装やメッキのふくれ、剥がれの原因になります。

## お手入れ方法

扉  
とって  
把手



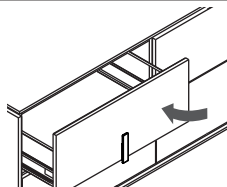
- 通常のお手入れは、柔らかい布でから拭きしてください。
- ※汚れは中性洗剤を柔らかい布にしみこませて拭き、水を含んだ柔らかい布で洗剤を拭き取った後、乾いた柔らかい布でから拭きしてください。
- ※扉によっては、細かい傷が目立つことがあります。お手入れの際には、十分ご注意ください。
- ※スワロフスキーをあしらわれた把手については、ぬるま湯で湿らせた布などで軽く拭き取った後、乾いた柔らかい布でから拭きしてください。中性洗剤を使用する場合は、中性洗剤を希釈して使用してください。

## ユニット

清潔で、快適にご使用していただくために、以下の注意とお手入れ方法をお守りください。

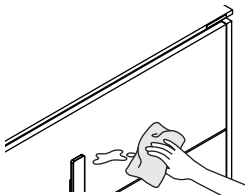
### ご使用に際して

扉の開閉はていねいに行ってください。



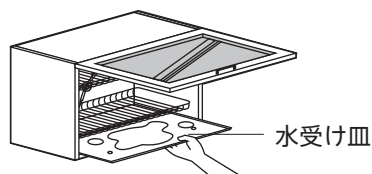
包丁差しや、引出しの中の収納品が動き破損することがあります。

ユニットに水が付いた場合はすぐに拭き取り、常に清潔な状態を保ってください。



ふくれ、剥がれの原因になります。

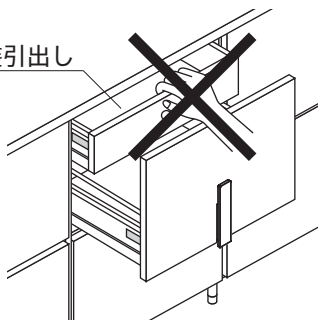
ガラスフラップアップ扉ウォールユニットをご使用の際に、水受け皿に水が溜まったら捨て、常に清潔な状態を保ってください。



内装引出しを閉める際は、内装引出し前板の上部に手をかけないでください。

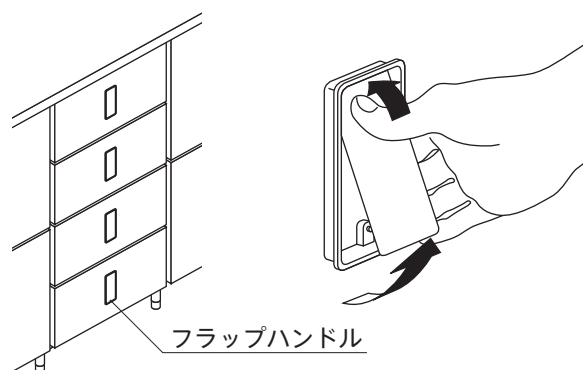
手を挟んで、ケガをする恐れがあります。

内装引出し



---

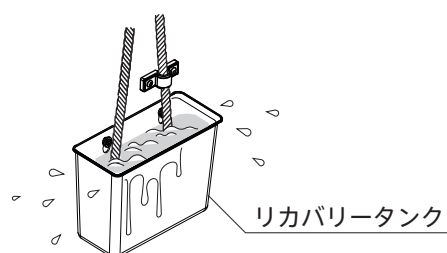
フラップハンドルは上部を押すと下部が出てくる構造になっています。  
引出しを開ける際は、フラップハンドルの下部を持って手前に引いてください。



---

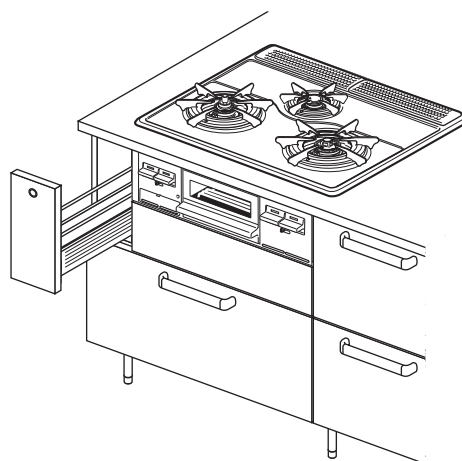
リカバリータンクを定期的を確認し、溜まった水は捨ててください。

水が溜まりすぎると、シャワー付水栓のシャワーをご使用の際に、水が飛び散ったり、溢れたりします。



---

季節や加熱機器の使い方によって、加熱機器に隣接する引出し内の温度が上昇することがありますので、調味料や食品は、それぞれに記載されている保存方法に従って収納してください。



---

食器洗い乾燥機の下引出しは、温度が高くなるため、食品や飲料類・ガスボンベは収納しないでください。

---

## 引出しの開閉について

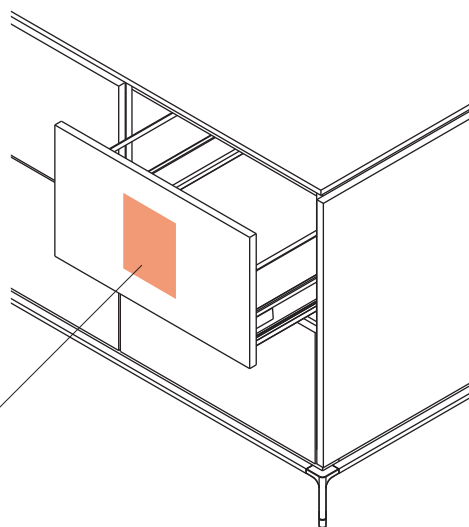
### ■プッシュオン引出しの場合

プッシュオン引出しを開閉する場合は、必ず引出しの中央部を押してください。  
※中央部を押さないと傾いて出たり、途中で止まる場合があります。

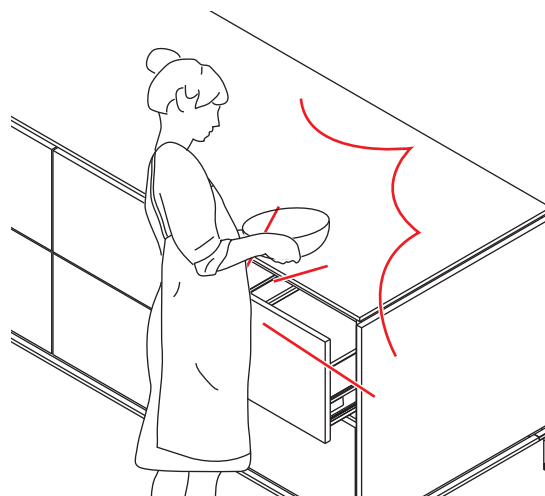
開ける際：図の中央部を押してください。

閉める際：図の中央部を押し込みながら、少し手前で手を離してください。

引出しの中央部を押す



引出しに体が触れて少し開いてしまった場合は、そのまま押し込まないでください。  
いったん体を引出しから離し、いっぱいまで引出しを開いてから、引出しの中央部を押して閉めてください。



## 引出しの取り外し方

### ■ブルム社製フルエクステンション引出しの場合

#### 取り外し方

- ・引出しをいっぱいまで引出し、手前を持ち上げて取り外してください。
- ※必ず両手で引出しを持って取り外してください。

#### 取付け方

- ・引出しレールをいっぱいまで引出してください。（図1）
- ・引出しレールの上に引出しを乗せてください。（図2）
- ・引出しを「パチン!」と音がするまで奥へ押し込んで、引出しレールに固定します。（図3）

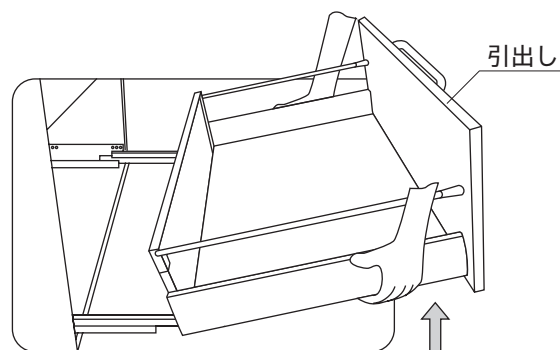


図1

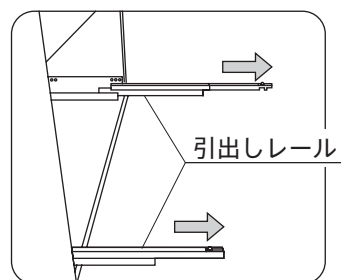


図2

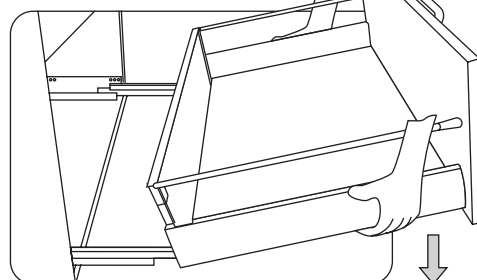
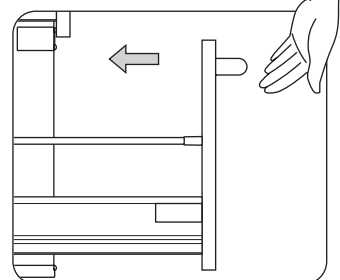
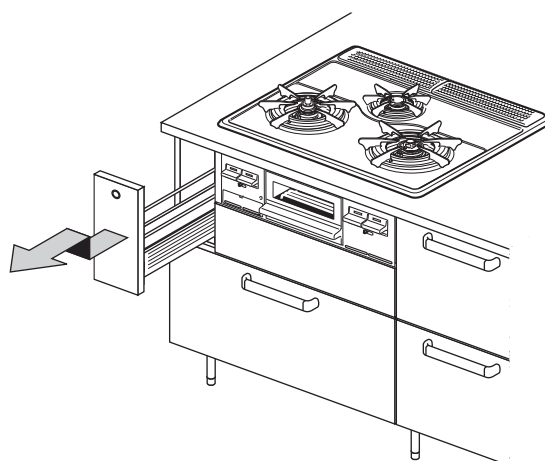


図3



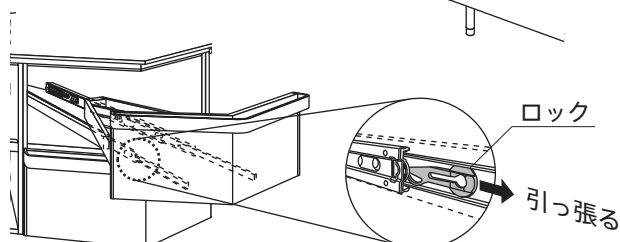
### ■スチール製引出しの場合

- ・引出しの取り外しは、引出しをいっぱいまで引出し、手前を持ち上げながら引出しレールから引き抜きます。
- ・引出しの取付けは、取り外しの手順を逆にを行います。



### ■ケーキカット型ユニットの場合

- ・引出しをいっぱいまで引出し、ロックを手前に引っ張りながらさらに引出します。
- 引出しを入れるときは、そのまま水平に押し入れてください。

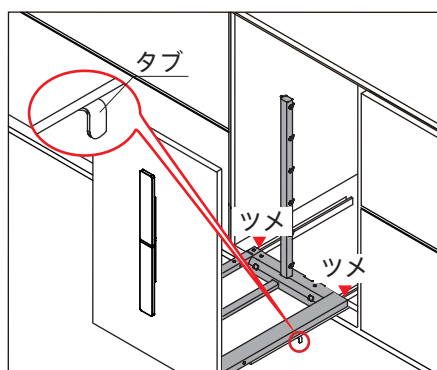


## ■スライドバスケットの場合

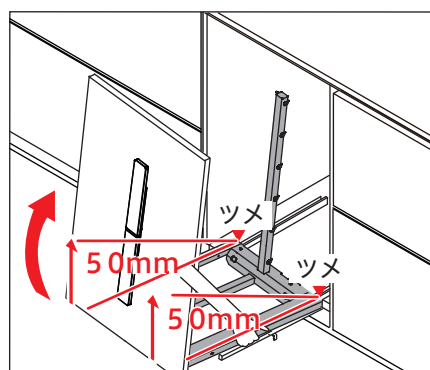
### 取り外し方

- ・バスケットを外し、引き出しをいっぱいまで引出します。
- ・引き出しレールの中央両端に付いたタブを内側に押しながら、奥のツメを支点に扉を50mm程上に持ち上げるとレールが外れます。

※注意) タブを内側に押さないで扉本体を持って持ち上げないでください。レールから扉が外れる恐れがあります。



タブ位置



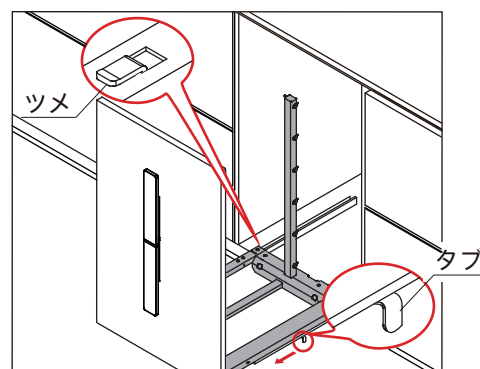
扉ごと50mm程上げる

### 取付け方

- ・スライドバスケットユニットを取付けます。
- ・レールの上にスライドバスケットのレールをのせて、レール奥のツメをスライドバスケットのレールに押し込み、カチッと音がすると固定されます。

奥のツメはレール横のタブを手前に引っ張れば手前に来ます。

※扉の傾き調整を、ユニット設置後に行ってください。

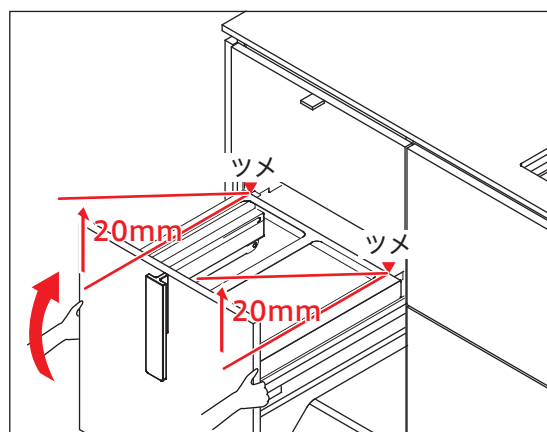




## ■ダストボックスの場合

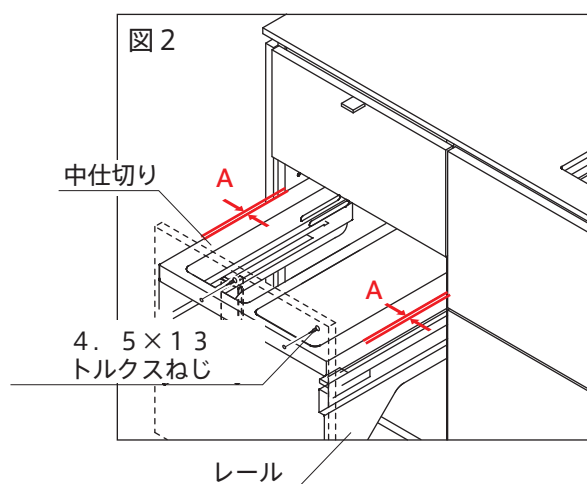
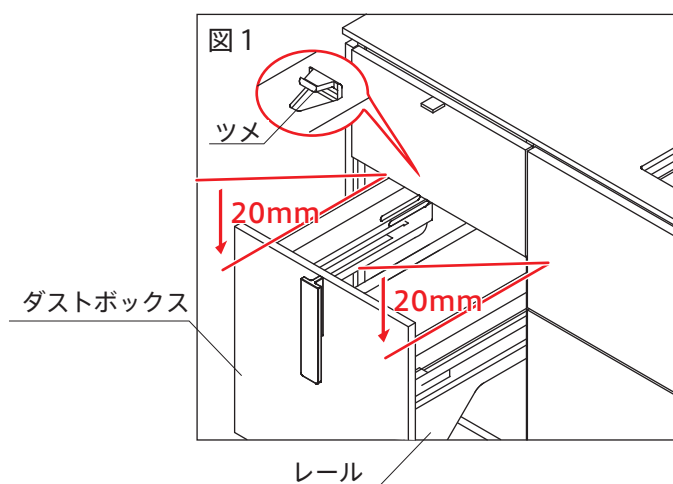
### 取り外し方

- ・引き出しレールをいっぱいまで引き出します。
  - ・奥のツメを支点に、扉を上にも20mm程上げるとレールが外れます。
- ※取付けの際は一般的な引出しの取付けのように、レールと平行に押し込まないようにご注意ください。  
(ダストボックスの取付・設置手順参照)



### 取付け方

- ・引き出しレールをいっぱいまで引出し、レールの上にダストボックスをのせます。
  - ・ダストボックスを引出しレールのツメに入れ固定します。ツメに入れる際は、ツメを支点に20mm程ダストボックスの手前側を上げた状態にし、ツメに入れた後に手前側を下げてください。(図1参照)  
固定後ダストボックスを平行に押し込んでください。
  - ・ダストボックスを再度引き出し、奥のツメがダストボックスに入ったことを確認してください。
- ※扉の傾き調整を、ユニット設置後に行ってください。  
※中仕切は出荷時に外してあります。目地を調整後、4.5×13トルクスねじで必ず固定してください。  
※中仕切りとレールの左右のA幅を揃えてください。(図2参照)



## クロスギャラリーの取付け

(※ブルム社製フルエクステンション引出しオプション)

- ・クロスギャラリーのネジをゆるめます。(図1)
  - ・ギャラリーレールにクロスギャラリーを取付けます。(図2、図3)
  - ・クロスギャラリーのネジを締めます。(図1)
- ※取り外す時は、逆の手順で行います。

図1

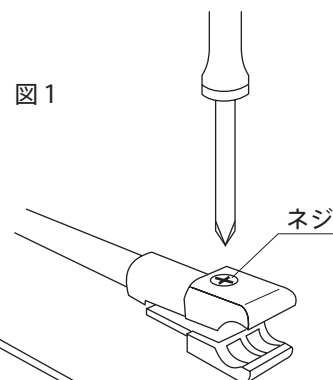


図2

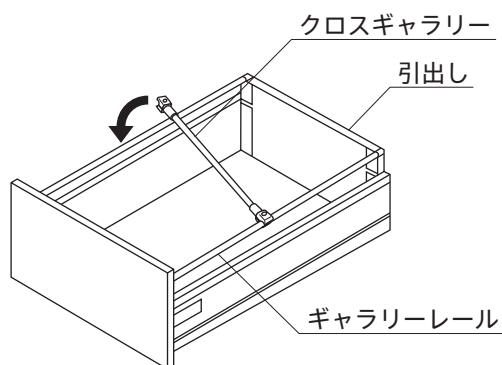
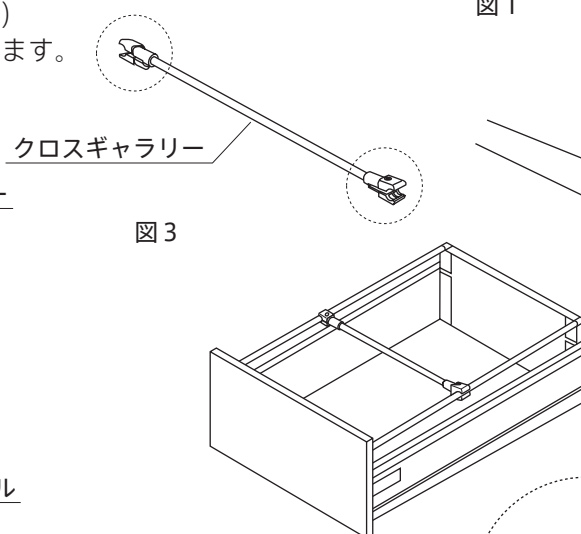


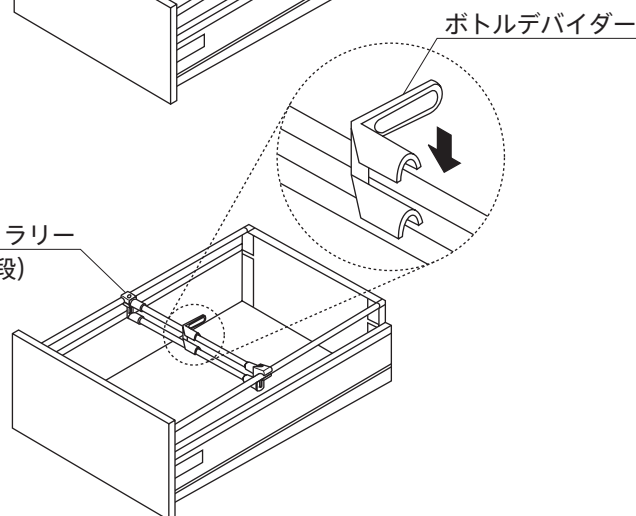
図3



### 【クロスギャラリー2段タイプ】

- ・クロスギャラリー2段も上記の取付方法と同じです。
- ・ボトルデバイダーを上から落とし込むようにクロスギャラリー2段にはめ込みます。

クロスギャラリー  
(2段)

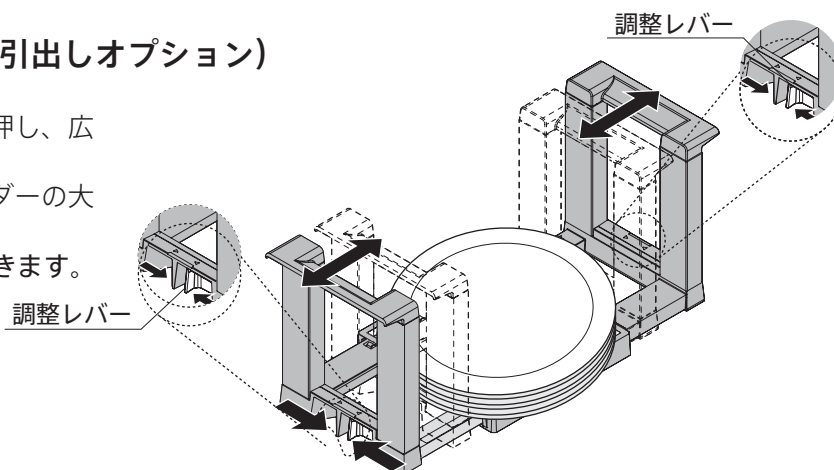


## ディッシュホルダーの使用法

(※ブルム社製フルエクステンション引出しオプション)

- ・ディッシュホルダーの左右の調整レバーを押し、広げます。
- ・お皿を置き、調整レバーでディッシュホルダーの大きさを調整します。

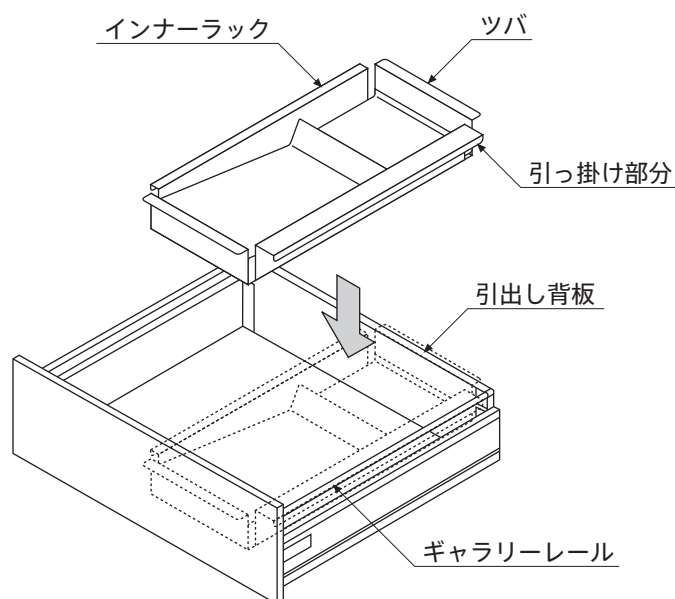
※丸型で186～322mmまでのお皿を収納できます。



## インナーラックの取付け

(※ブルム社製フルエクステンション引出しオプション)

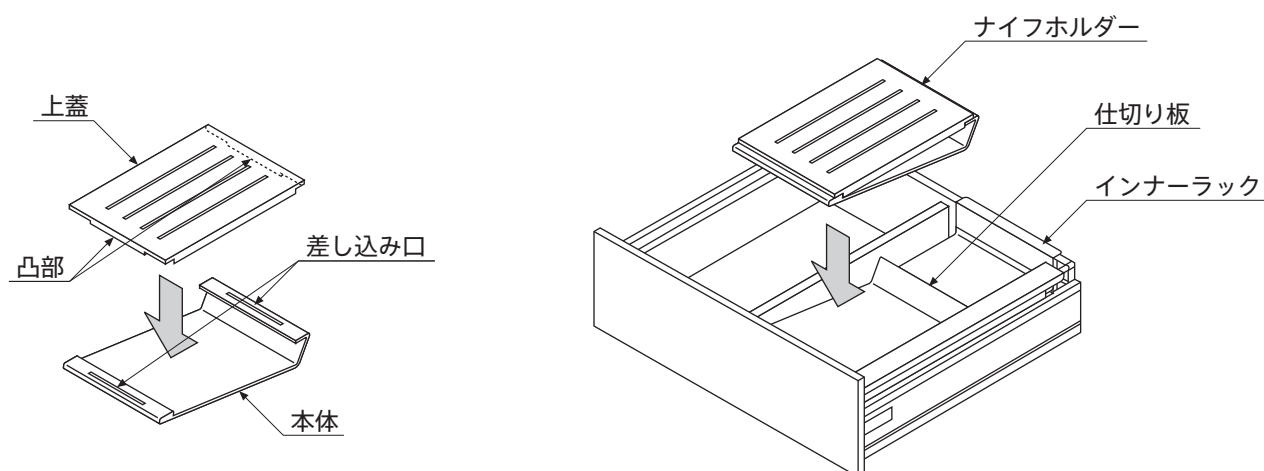
- ・インナーラックの引っ掛け部分の幅が広い方をギャラリーレールに引っ掛け、引出し背板の上面にインナーラックのツバを乗せます。
- ※インナーラックが不安定な場合は、ギャラリーレールの長さを調整してください。
- 「ブルム社製フルエクステンション引出しの場合」の「傾き調整」を参照してください。



## ナイフホルダーの取付け

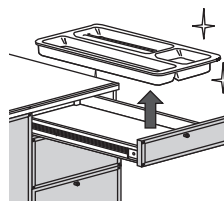
(※ブルム社製フルエクステンション引出しオプション)

- ・ナイフホルダーの上蓋前後の凸部を本体の差し込み口に差し込みます。
- ・インナーラックの仕切り板の手前のスペースにナイフホルダーを入れます。

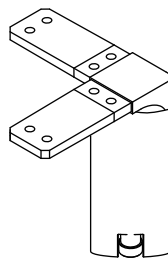
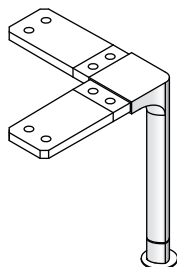


## お手入れ方法

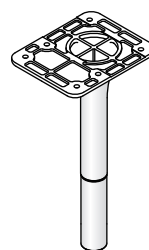
インナートレイ・引出し等は、  
取り外してお掃除です。



A Fや補助脚等の脚部には、  
ガソリン・シンナー・アルコ  
ール・ミガキ粉・研磨剤の入  
った洗剤は使用しないでくだ  
さい。



A F



補助脚

変質、変色、変形する  
恐れがあります。



## ユニット



## アジャスター



●通常のお手入れは、柔らかい布でから拭きしてください。  
※汚れは中性洗剤をスポンジに付けて落とし、水を含んだ布で  
洗剤を拭き取った後、乾いた布でから拭きしてください。

●通常のお手入れは、柔らかい布でから拭きしてください。  
※汚れは中性洗剤を柔らかい布にしみこませて拭き、水を含んだ  
柔らかい布で洗剤を拭き取った後、乾いた柔らかい布でから拭  
きしてください。

# 引出し・扉・ フラップ扉の調整

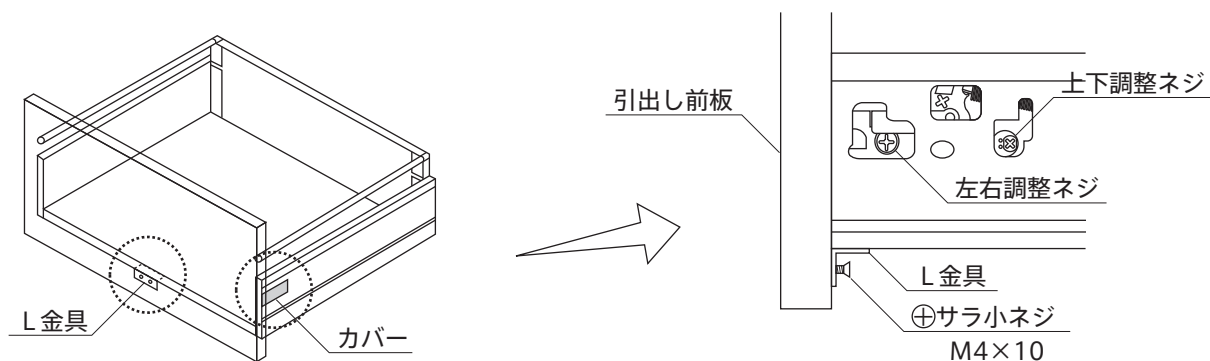
取付・設置時に正しく調整された引出し・扉・フラップステーが、もし下記のような状態になりましたら、微調整することができます。

## 引出し前板の調整

### ■ブルム社製フルエクステンション引出しの場合

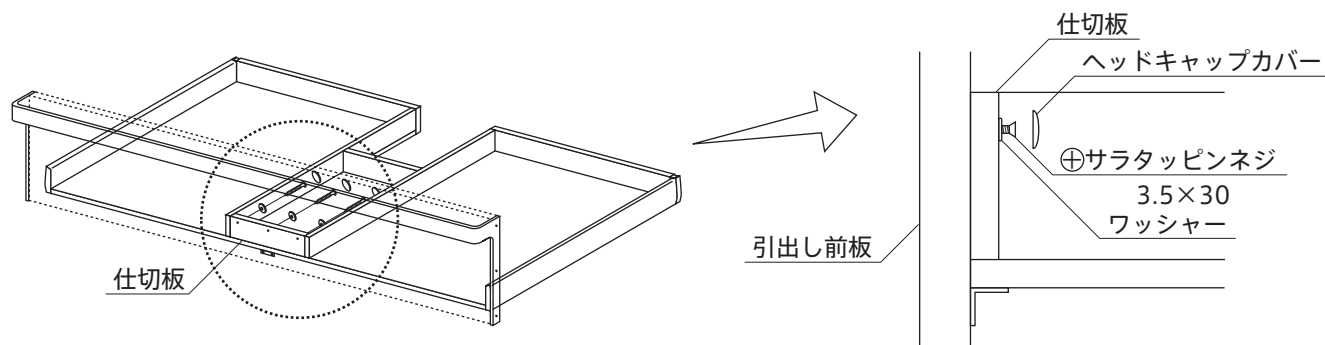
調整を行う前に・・・

- ・間口750mm以上のユニットの場合、引出し底板裏面についているL金具の引出し前板側の取付ネジ（⊕サラ小ネジM4×10）をゆるめます。
  - ・引出し側板左右外側についているカバーをマイナスドライバー等で外してください。
- ※全ての調整が終わりましたら、取付ネジを締めて引出し前板を固定し、カバーを取付けてください。



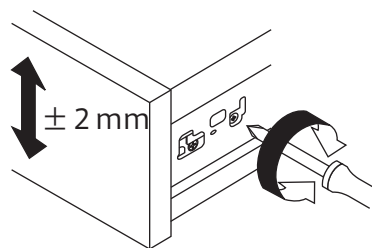
- ・G1シンク専用シンクユニットの上段引出しの場合、仕切板のヘッドキャップカバーを外し、引出し前板を固定しているネジ（⊕サラタッピンネジ3.5×30）をゆるめます。

※全ての調整が終わりましたら、ネジを締めて引出し前板を固定し、ヘッドキャップカバーを取付けてください。



### ●上下方向の調整

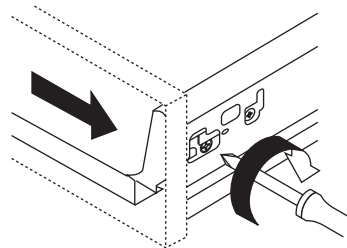
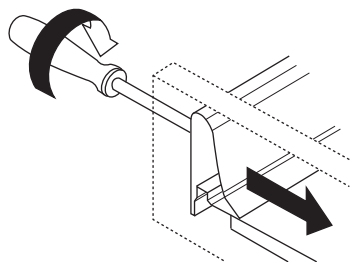
- ・上下調整ネジにて引出し前板の上下方向を調整します。
- ・ $\pm 2\text{ mm}$ 調整できます。



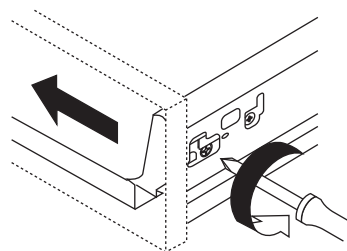
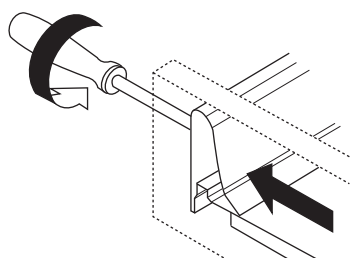
### ●左右方向の調整

- ・左右調整ネジにて引出し前板の左右方向を調整します。
- ・ $\pm 1\text{ mm}$ 調整できます。

右へ1 mm

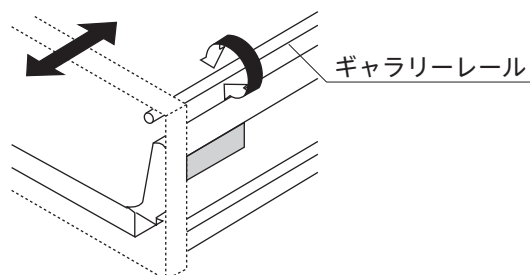


左へ1 mm



### ●傾き調整

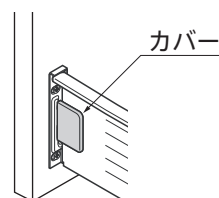
- ※ギャラリーレール付き引出しのみ調整できます。
- ・ギャラリーレールを回して、引出し前板の傾きを調整します。



## ■スチール製引出しの場合

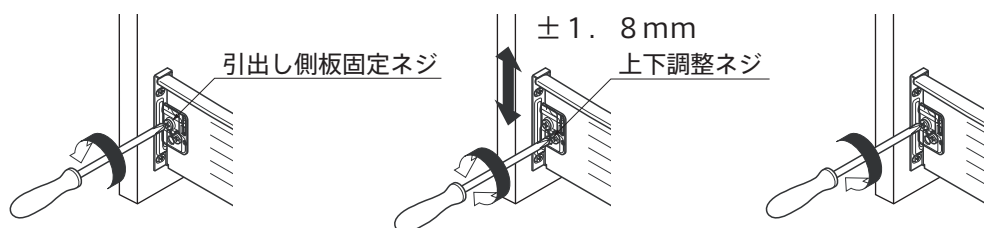
### 調整を行う前に・・・

- ・引出し側板左右外側についているカバーを外してください。
- ※全ての調整が終わりましたら、カバーを取付けてください。



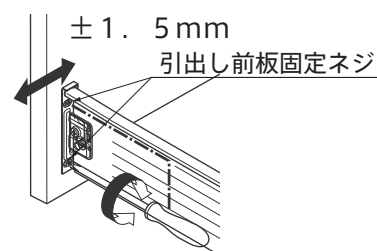
### ●上下方向の調整

- ・引出し側板固定ネジをゆるめ、上下調整ネジにて引出し前板の上下方向を調整します。
- ・ $\pm 1.8$  mm調整できます。
- ・調整が終わりましたら、引出し側板固定ネジを締めてください。



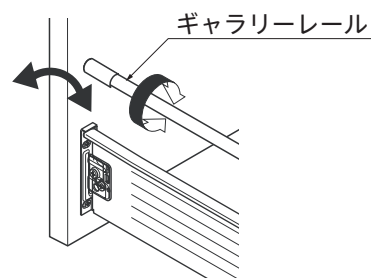
### ●左右方向の調整

- ・引出し前板固定ネジをゆるめ、引出し前板の左右方向を調整します。
- ・ $\pm 1.5$  mm調整できます。
- ・調整が終わりましたら、引出し前板固定ネジを締めてください。



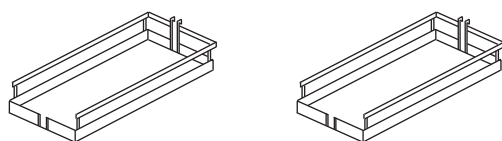
### ●傾き調整

- ・ギャラリールールを回して、引出し前板の傾きを調整します。



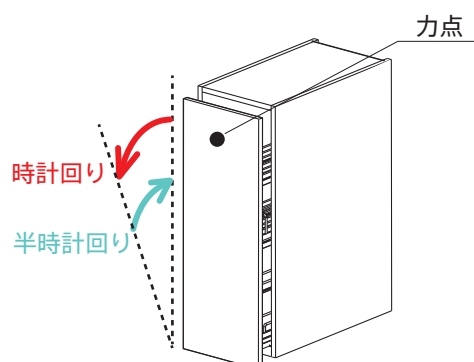
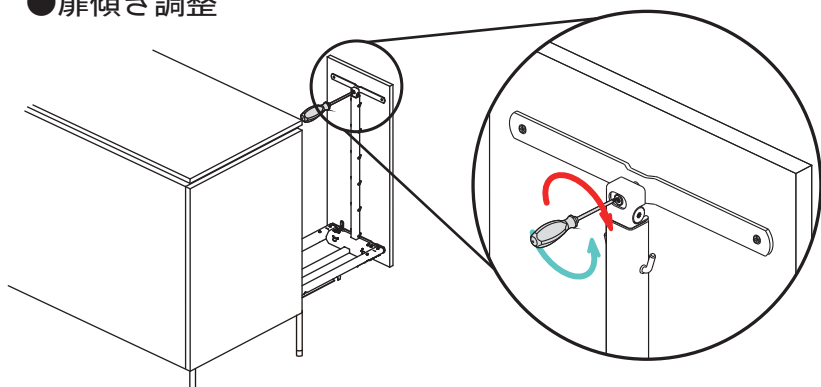
## ■スライドバスケットの場合（※説明は間口300）

ユニット付属内容

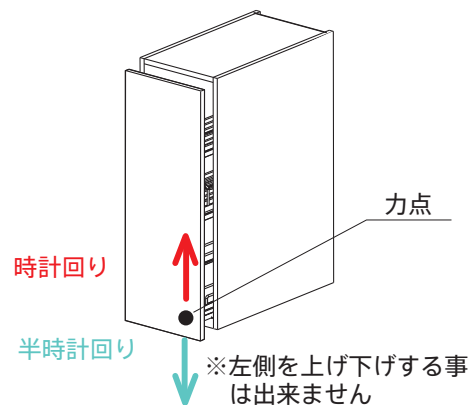
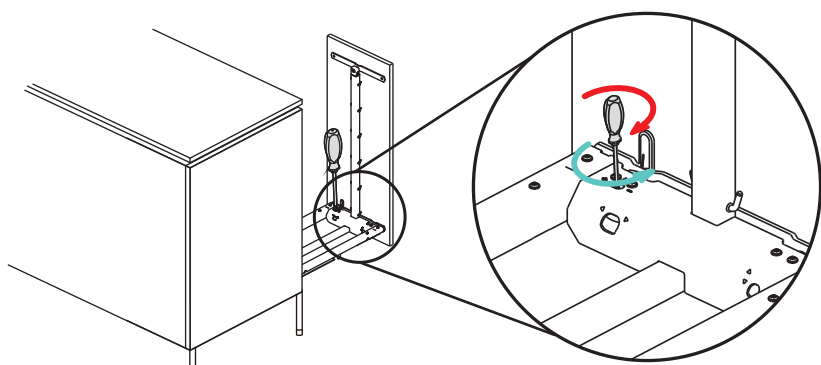


バスケット×2個

### ●扉傾き調整

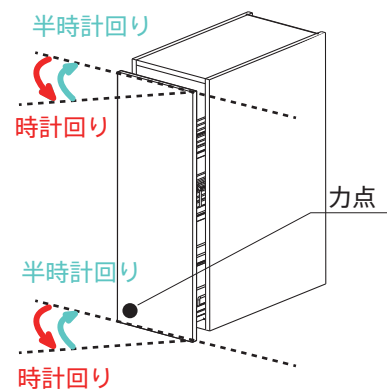
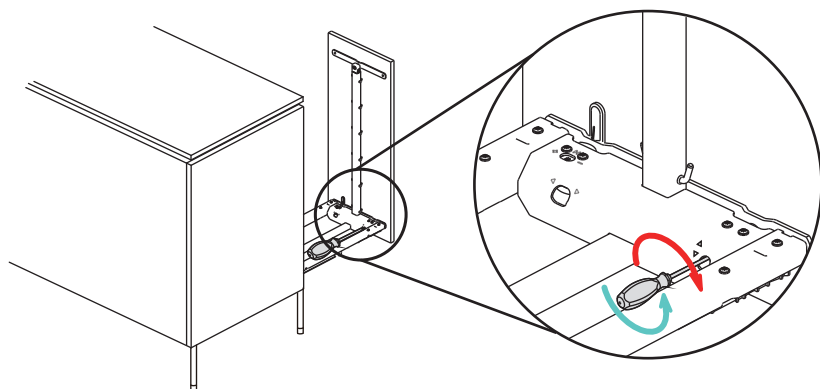


### ●扉上下調整※正面から見て右側

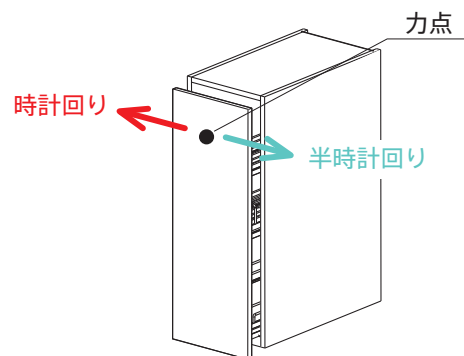
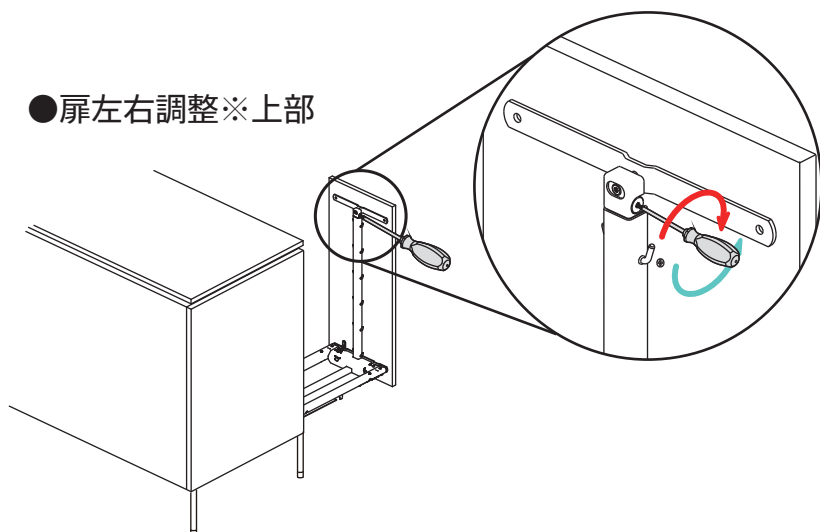




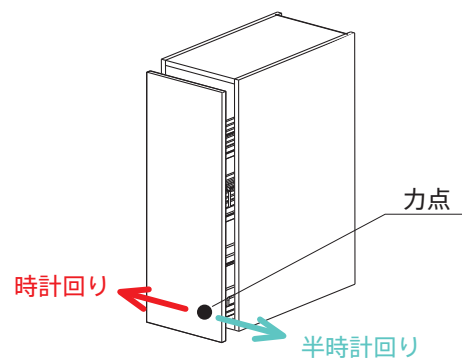
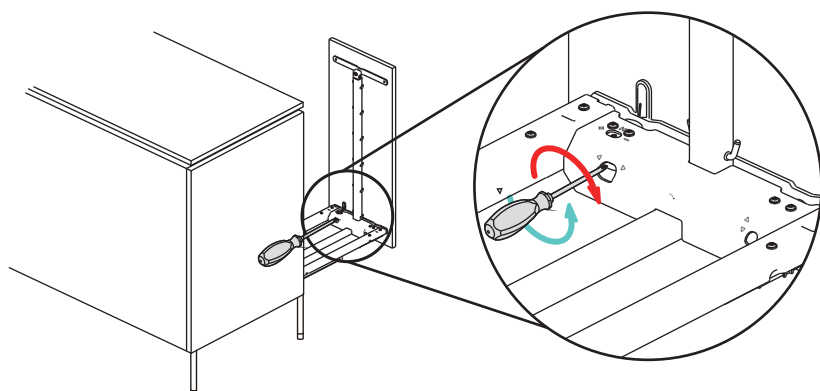
●扉傾き調整※正面から見て左側



●扉左右調整※上部



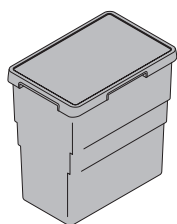
●扉左右調整※下部



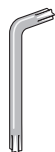
※ねじを回し過ぎないように  
注意してください

## ■ダストボックスの場合

### ユニット付属内容



ゴミ箱  
W300 用 ×1  
W450 用 ×2

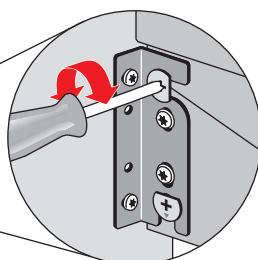
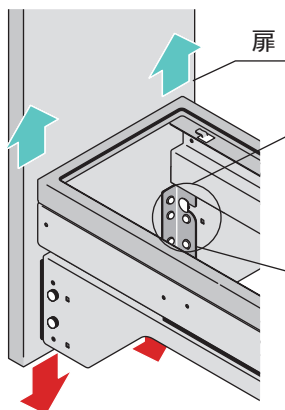


トルクス頭 六角 ×1



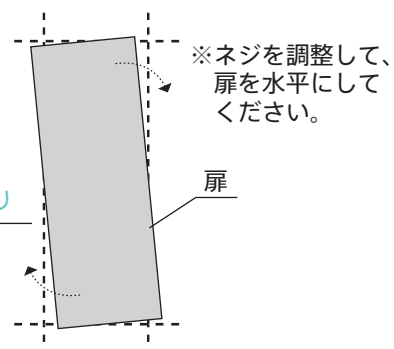
4.5×13 トルクスねじ ×6

### ●扉上下調整

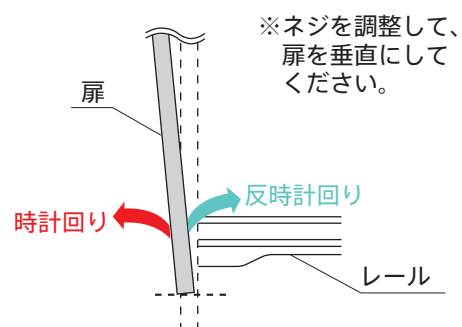
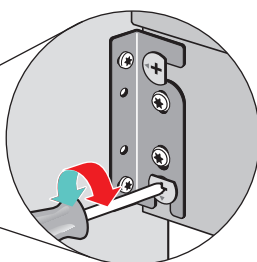
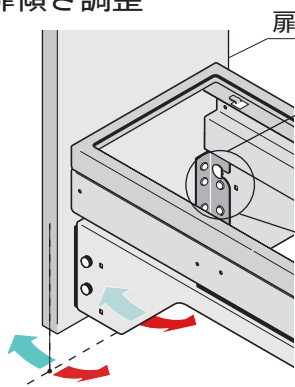


↑ 反時計回り

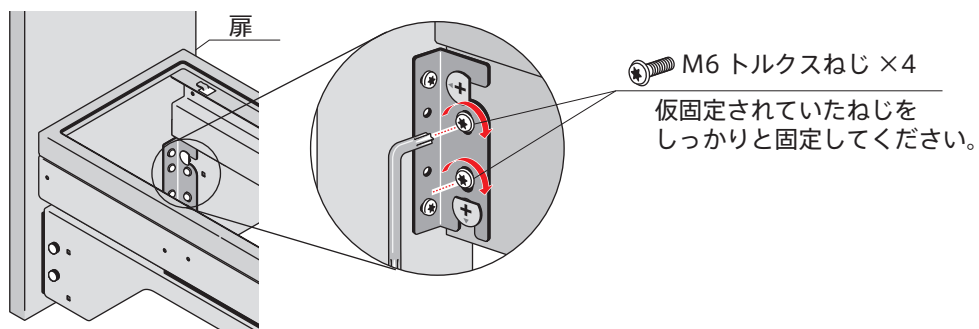
↓ 時計回り



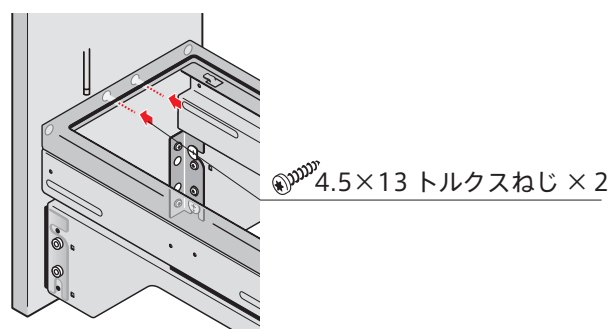
### ●扉傾き調整



### ●調整後の扉位置固定

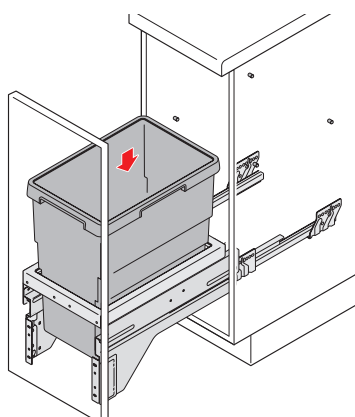


### ●扉とレールの固定



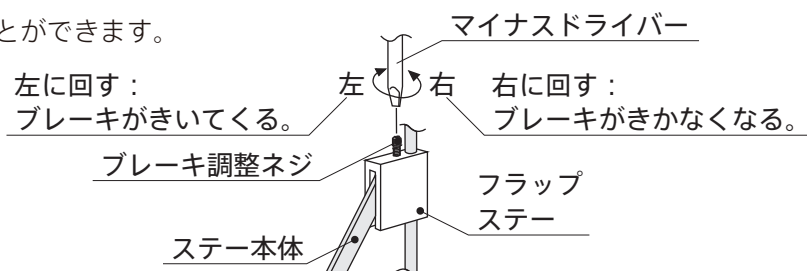
### ●付属品装着

ゴミ箱を設置



## フラップ扉の調整（フライヤー用加熱機器ユニット）

ダウンスピードを変えることができます。



## プッシュオンの調整

【開き扉ユニット／間口150引出し以外】

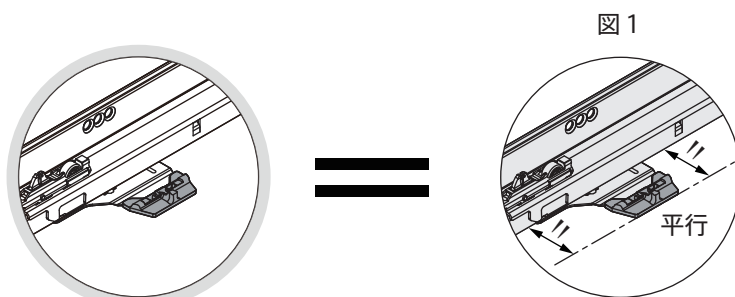
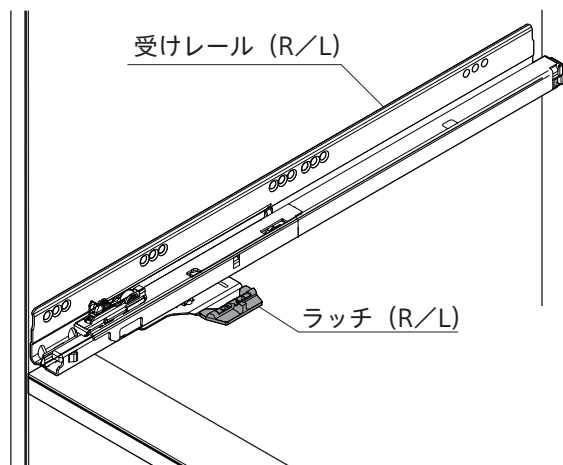
### ●受けレール側の調整

・受けレールに取付けてあるラッチ（R／L）が受けレールと平行であること（図1）を確認してください。

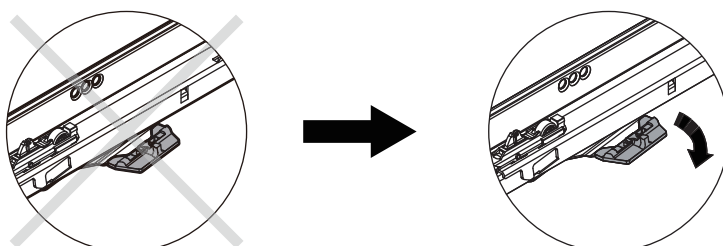
※平行に取付いていない場合、プッシュオン機能がうまく働かない場合があります。

・平行でない場合は、ラッチの奥側を軽く手前に引き出して（図2）、カチッと音がした所で止めて平行になったこと（図1）を確認してください。

※引き出す際に強く引き過ぎるとラッチが曲がったり破損する恐れがあります。



ラッチが受けレールに平行でない場合



## ●引出し側の調整

・引出し裏面の両端に取付けたプッシュオンユニット（R／L）の調整ダイヤルを回して、引出しの前後方向を調整します。（図3）

※最小隙間以下の場合、プッシュオン機能がうまく働かない場合があります。

※引出しの左右の出が違う場合、プッシュオン機能がうまく働かない場合があります。

※キッチンの水平レベルが出ておらず、キッチン全体が歪んだりしている場合、プッシュオン機能がうまく働かない場合があります。

・ギャラリーレールがある場合は、ユニット側板の防虫パッキンと引出し前板の隙間が上下で同じになるように、ギャラリーレールを回して傾きを調整をしてください。（図4）

（P 26 引出し前板の調整 傾き調整参照）

※引出し前板の傾きがあると、プッシュオン機能がうまく働かない場合があります。

図3

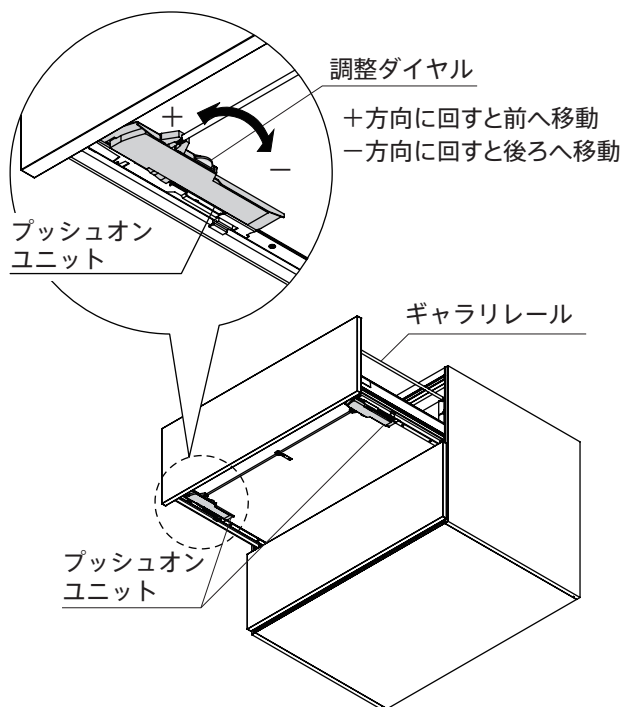
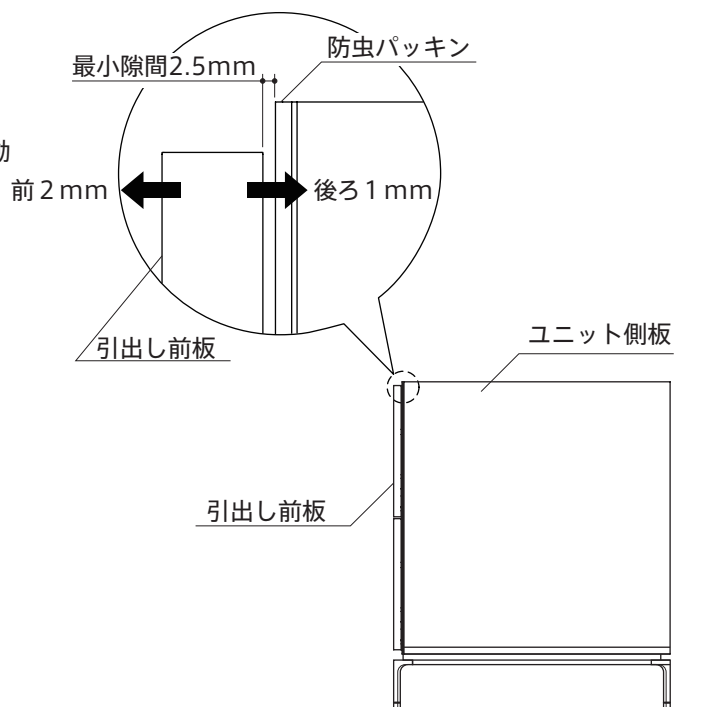


図4

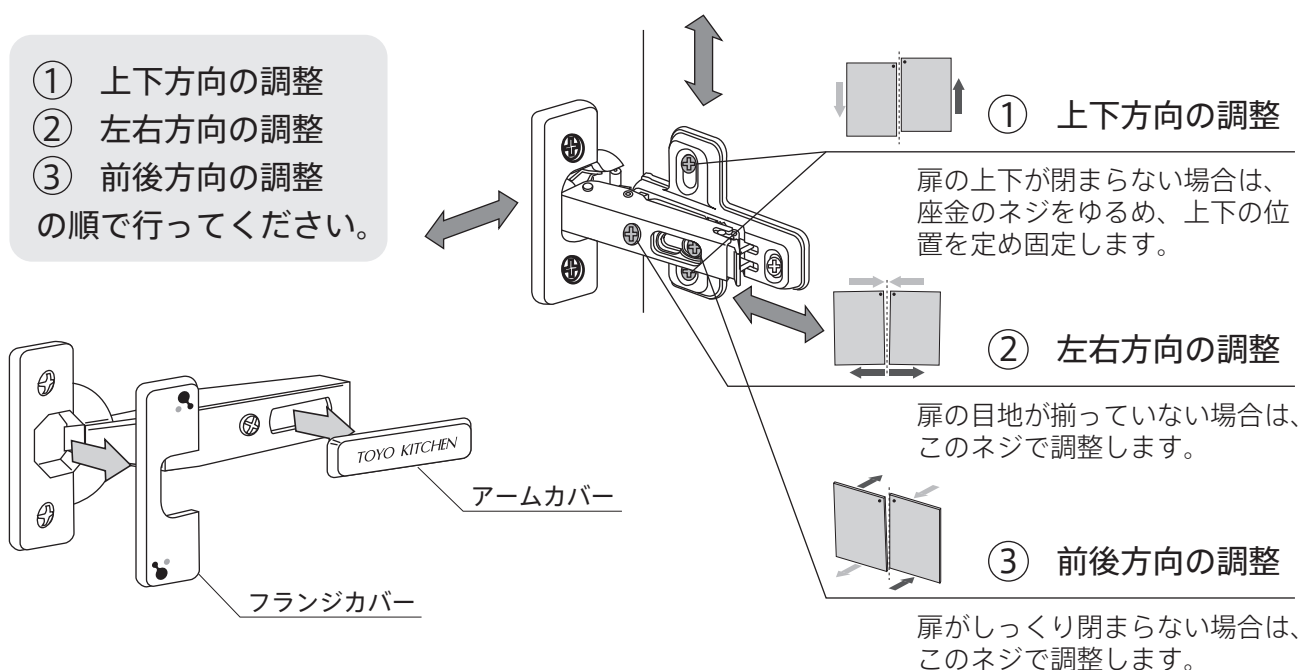


## ご使用に際して

### 扉の調整

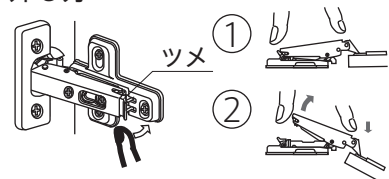
調整は、トルク0.9 N・m以下で+ドライバーを使用して行ってください。  
調整を行う前に、アームカバーとフランジカバーを外してください。

- ① 上下方向の調整
  - ② 左右方向の調整
  - ③ 前後方向の調整
- の順で行ってください。



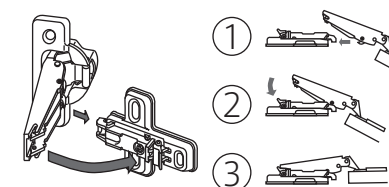
#### 丁番の着脱方法

##### 外し方



丁番本体後部にある「ツメ」を押し  
てください。

##### 取付け方

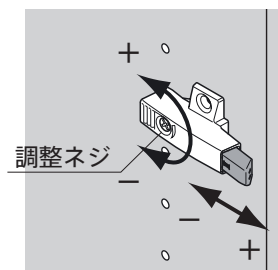


左図に従って丁番  
本体を座金に取付  
けます。

#### 扉用ブルモーションの調整方法

扉が勢いよく閉まりすぎる場合・・・＋方向へまわす  
扉がスムーズに閉まらない場合・・・－方向へまわす

※調整範囲 －7 mm～＋3 mm



※調整範囲以上に調整ネジ  
を回すとシリンダーが詰  
まって動かなくなる場合  
があります。  
その場合、逆方向へ調整  
ネジを回すと機能するよ  
うになります。

## 【開き扉ユニット／間口150引出し（※グリル付引出しを含む）】

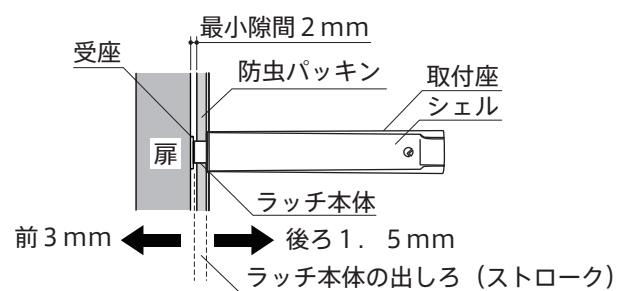
- ・扉の ● 付近を軽く押すだけで扉が開きます。
- ※扉を閉める際は最後まで手で押し込んでください。
- ※接地部（受座、ラッチ本体先端）が汚れると、マグネッ  
が弱くなるため、掃除をして綺麗に保ってください。

### ●ラッチのストロークの調整

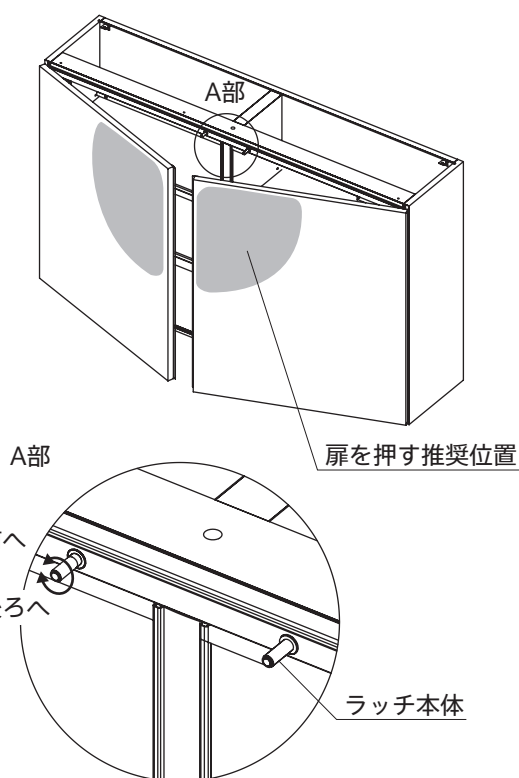
- ・扉が開いている状態で、ラッチ本体を回して、ス  
トロークを調整してください。
- ※誤作動防止のためストローク調整は調整範囲内に  
してください。
- ※調整代を指定寸法以上に長くすると破損の原因に  
なります。

#### ■扉が閉じた状態（側面図）

（※図は引出しの場合を示すが、開き扉ユニットも同様）

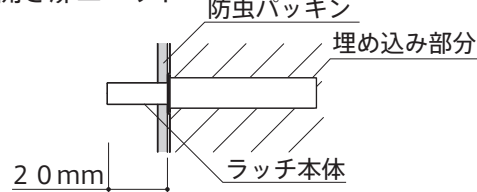


#### ■開き扉ユニット

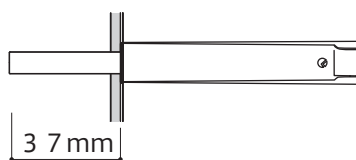


#### ■扉が開いた状態（側面図）

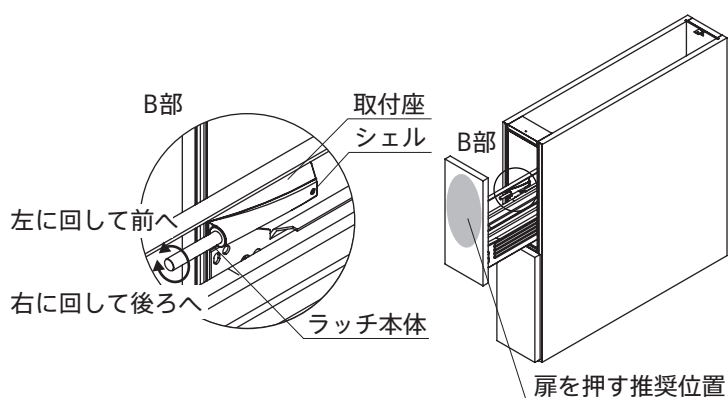
##### 開き扉ユニット



##### 間口150引出し



#### ■間口150引出し

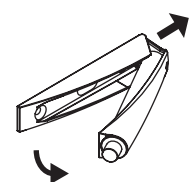
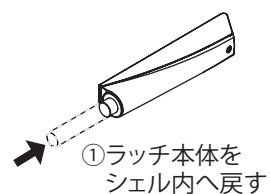
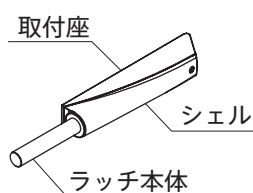


## ●間口150引出しの引出し箱を取外す場合

- ・引出し箱を取り外す場合、ラッチが背板に干渉するため、先にラッチを取り外してから引出し箱を外します。

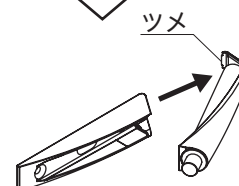
引出し箱を引き出した状態で、シェル内へラッチ本体を押し込んで戻し、手前を持ち上げます。シェルのツメを外すように奥に押し、引っかかりが外れたらシェルごと奥に押し出して取付座からラッチ本体を取り外します。

- ・取付けは、引出し箱をセットした後に取り外しと逆の手順で行います。シェルのツメを取付座の奥側にカチッとはめてラッチ本体ごと手前に倒し、取付座の前側にカチッとはめ込みます。



③シェルのツメを外す

②手前を持ち上げる



④奥に押し出す



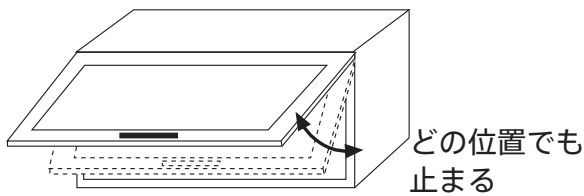
ガラスフラップアップ扉ウォールユニット用フラップステーの調整

ガラスフラップアップ扉ウォールユニットの開閉方法は、フラップステーの調整により2種類から選べます。お好みの開閉方法をお選びください。

[開閉方法]

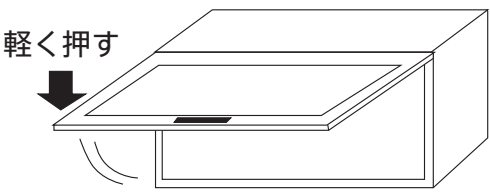
機能H（出荷時の状態）

・扉は、どの位置でも止まります。



機能B

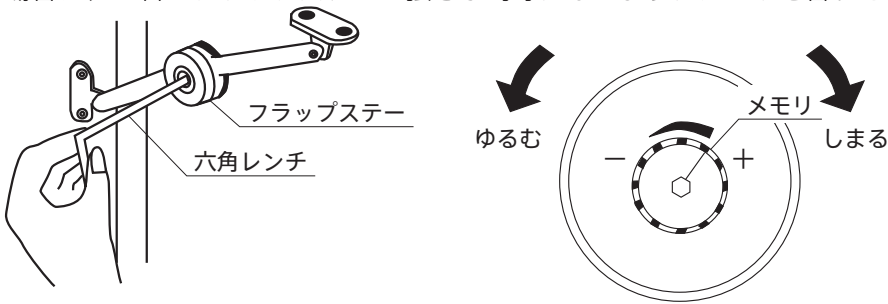
・扉は全開の状態では止まりません。  
閉める時は、扉を上から軽く押すだけで閉められます。



扉が次のようになる場合は、付属の六角レンチを使ってフラップステーの調整を行ってください。

機能H	機能B	調整方法
扉が好きな位置で止まらない場合	扉をいっぱいまで開けても止まらない場合 扉が勢いよく閉まりすぎる場合	＋方向へまわす (ネジをしめる)
扉の開閉がかたく、扉が重い場合	扉がスムーズに閉まらない場合 扉が最後まで閉まらず、途中で止まってしまう場合	－方向へまわす (ネジをゆるめる)

フラップステーが2つついている場合は、左右のフラップステーの強さが均等になるようにメモリを合わせてください。



- ※フラップステーは、取り外さないでください。  
破損して、思わぬ事故の原因になることがあります。
- ※フラップステーには、潤滑オイル等を使用しないでください。  
扉の止まり具合が悪くなり、フラップステーの機能に支障をきたす恐れがあります。

[フラップステー中心部]

お手入れ方法

- 丁番は、時々汚れやホコリを取り除いてください。
- 丁番は、ミシン油を時々注入していただければ、開閉がいつまでもなめらかです。

安心して使える

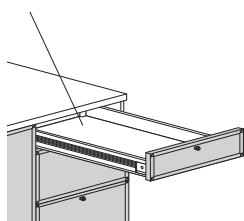
## 重さのめやす (耐荷重)

収納品の重さのめやすを表示しました。  
以下の重量を守って安全にお使いください。

※5kg…直径200mmのお皿15枚程度を目安にしてください。  
※各々の耐荷重は、均等に物を載せた場合の耐荷重です。

※重量が限度を上回ったり片寄ったりすると、棚板や引出しが破損したり、載せている物が落ちてケガをする恐れがあります。

### 引出し



#### ブルム社製フルエクステンション

SPiGA TRE iNO iNO LEONE BAY  
BAY CUBE PORTO CARO2

・間口300～1200mm 30 kg

SPiGA TRE iNO

・間口1050～1350mm  
(パアレロシンク専用ユニット  
の奥行350mmレール) 15 kg

#### スチール製

SPiGA TRE iNO iNO LEONE BAY  
BAY CUBE PORTO CARO2

・間口150mm 15 kg

SPiGA TRE iNO

・ケーキカット型ユニット 10 kg

#### プッシュオン

SPiGA TRE (収納ブロック)

iNO (CORE DEVICE ISOLA)

・間口300～600mm 30 kg

BAY CUBE

・間口300～1200mm 30 kg

## インナーパーツ

※右記の商品を  
インナーパーツ  
と呼びます。

・	／	間口300mm ( I N Oフロアユニット)	15 kg
・	／	間口450mm (                      /                      )	12 kg
・ スライドボード			20 kg
・ ウォールユニット用水切り棚			15 kg
・ 内装引出し			15 kg
・	ダストボックス	間口300mm ( I N Oフロアユニット)	15 kg
・	／	間口450mm (                      /                      )	20 kg

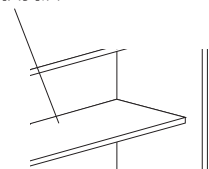
・	パイプラックパーツ	5 kg
---	-----------	------

## 壁面パーツ

・	ウォールラックパーツ	5 kg
---	------------	------

・	壁面パネルパーツ	2 kg
---	----------	------

## 棚板



・	間口600mm以下	15 kg／枚	(但し、棚板奥行き150mm以下は3kg、 および棚板奥行き520mm以上は10kg)
---	-----------	---------	--

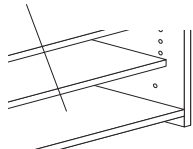
・	間口750mm以上	10 kg／枚
---	-----------	---------

・	ケーキカット型ユニット用	15 kg／枚
---	--------------	---------

※木製・アルミ製・ガラス製

・	Serving Element テーブルタイプ	20 kg／枚
---	----------------------------	---------

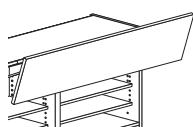
---

**ウォールユニット底板**

・間口600mm以下 15 kg／枚

・間口750mm以上 10 kg／枚

---

**ウォールユニット**

・収納許容荷重 40 kgまで／ユニット（但し、奥行き650mmの場合は35kgまで）

---

※ウォールユニットの積載荷重は、収納許容荷重を超えないようにしてください。

## ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

■弊社および弊社関係会社（以下「弊社」）は、お客様よりお知らせいただきましたお客様の氏名・住所等の個人情報（以下「個人情報」）を下記の通りお取り扱いします。

1. 弊社は、お客様の個人情報を弊社製品のご相談への対応や修理およびその確認等に利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。  
なお、修理やその確認業務を弊社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 弊社は、お客様の個人情報を適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

## アフターサービスについて

■この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検していただき、異常のあるとき、又はお気づきの点がございましたら、取付・設置店、販売店、又はトーヨーキッチンカスタマーサービスにお問い合わせください。

ご連絡して頂きたい内容

・ご氏名 ・ご住所 ・お電話番号 ・お買い上げ日 ・異常の内容 ・品番

■製品の保証期間はご購入後、取扱説明書に従って正常な使用状態において1年間です。  
ただし、本品質保証はご家庭で使用した場合にのみ適用します。

商 品 名	システムキッチン
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上り部分及び下地部分とも F☆☆☆☆
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による

VOC放散性能	4 VOC基準適合（木質建材）
表示ルール	「住宅部品VOC表示ガイドライン」による

※4 VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。

トーヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。  
詳しくは、[store.toyokitchen.co.jp](https://store.toyokitchen.co.jp)をご覧ください。

トーヨーキッチンスタイルカスタマーサービス <https://www.toyokitchen.co.jp/ja/maintenance/>  
トーヨーキッチンスタイルカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

### お問い合わせ先

T E L 050 - 3852 - 2392 〈受付時間 平日9:00～17:00（※土・日・祝日・夏期・年末年始は除く）〉  
メー ル tks@toyo1.toyokitchen.co.jp  
F A X 0575 - 23 - 1262

スマートフォンからでも  
修理／メンテナンスの  
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

